

[第 2 回]

第二次いわき市都市計画 マスタープラン等策定委員会

市民意向調査結果について

平成30年2月16日(金) 市役所本庁舎第 8 会議室

いわき市都市建設部都市計画課

1. 調査の概要

- (1) 調査方法 . . . P2
- (2) 回収結果 . . . P2
- (3) 分析にあたっての留意点 . . . P2

2. 調査結果

- (1) 回答者の属性
 - ①性別[問1] . . . P3
 - ②年齢[問2] . . . P3
 - ③職業[問3] . . . P3
 - ④お住まいの地域[問4] . . . P4
 - ⑤家族構成[問5] . . . P5
 - ⑥居住形態[問6] . . . P5
- (2) 日常生活について
 - ①日常生活において利用する場所、利用頻度、交通手段、所要時間 [問7] . . . P6
 - ②日常サービス施設を徒歩や自転車で利用する場合の施設までの許容時間 [問8] . . . P16
 - ③徒歩や自転車で駅・バス停まで行く場合の許容時間 [問9] . . . P17
 - ④鉄道・バスの運行間隔に対する許容時間 [問10] . . . P19
 - ⑤日常生活において居住地にあれば生活しやすい施設 [問11] . . . P20
- (3) 住まいについて
 - ①居住年数 [問12] . . . P21
 - ②住んでいる理由 [問13] . . . P21
 - ③永住意向 [問14] . . . P22
 - ④住み続けたい理由 [問15] . . . P23
 - ⑤転居したい理由 [問16] . . . P24
 - ⑥転居先で重視する事項 [問17] . . . P25
 - ⑦住み替える場合に転居したい地域 [問18] . . . P26
 - ⑧住み替える場合の居住形態 [問19] . . . P27
 - ⑨住み替える場合にあれば良い制度 [問20] . . . P28
- (4) これからのいわき市のまちづくりについて
 - ①いわき市の将来像 [問21] . . . P29
 - ②中心市街地のあるべき姿 [問22] . . . P30
 - ③中心市街地に必要と考える施設 [問23] . . . P31
 - ④市内移動において望ましい公共交通 [問24] . . . P32
 - ⑤他市町村の移動において望ましい公共交通 [問25] . . . P33
- (5) いわき市のまちづくりに対するご意見やご提案 [自由意見] . . . P34

1. 調査の概要

(1)調査方法

調査対象者	いわき市内の居住する20歳以上の男女 2,000人
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
配布・回収方法	郵送配布、郵送回収（無記名）
実施期間	平成29年9月29日（調査票発送）～平成29年10月13日（回収期限）
実施主体	いわき市（都市建設部都市計画課） （委託機関：玉野総合コンサルタント株式会社）

(2)回収結果

回収数	780票
回答率	39.0%

(3)分析にあたっての留意点

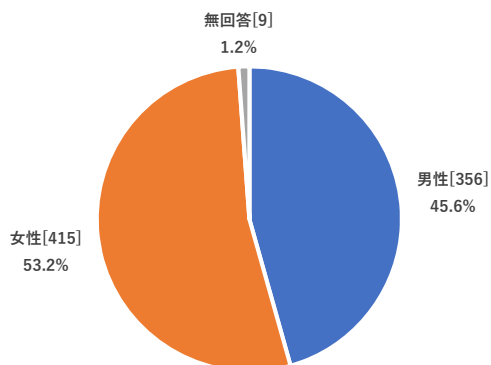
- 設問ごとに回答選択肢別の回答数とその構成比を算出していますが、構成比（%）は、少数第二位を四捨五入し少数第一位まで表示しているため、単一回答の場合でも表示上の合計が100.0に一致しない場合があります。
- 各設問の全体集計のほか、年代別、地域別におけるクロス集計を実施しています。回答数が780票（39.0%）確保されているため結果は統計上の信頼度を持っていますが、クロス集計においては、該当サンプルが少ない属性層があるため、その部分では十分な精度を持たない場合もあるため注意が必要となります。
- 結果グラフのうち、帯グラフにおいては、見やすくするため構成比が5%未満の数値を非表示としています。

2. 調査結果

(1)回答者の属性

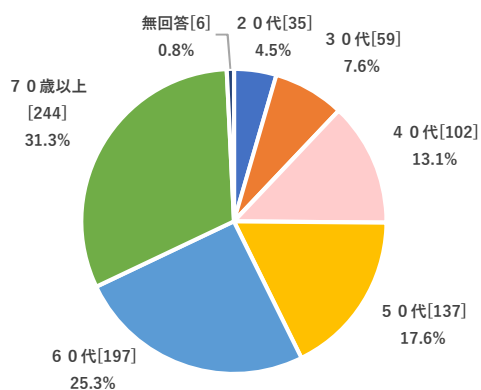
①性別（問1）

- 「女性」のほうが「男性」より、やや割合が高くなっています。



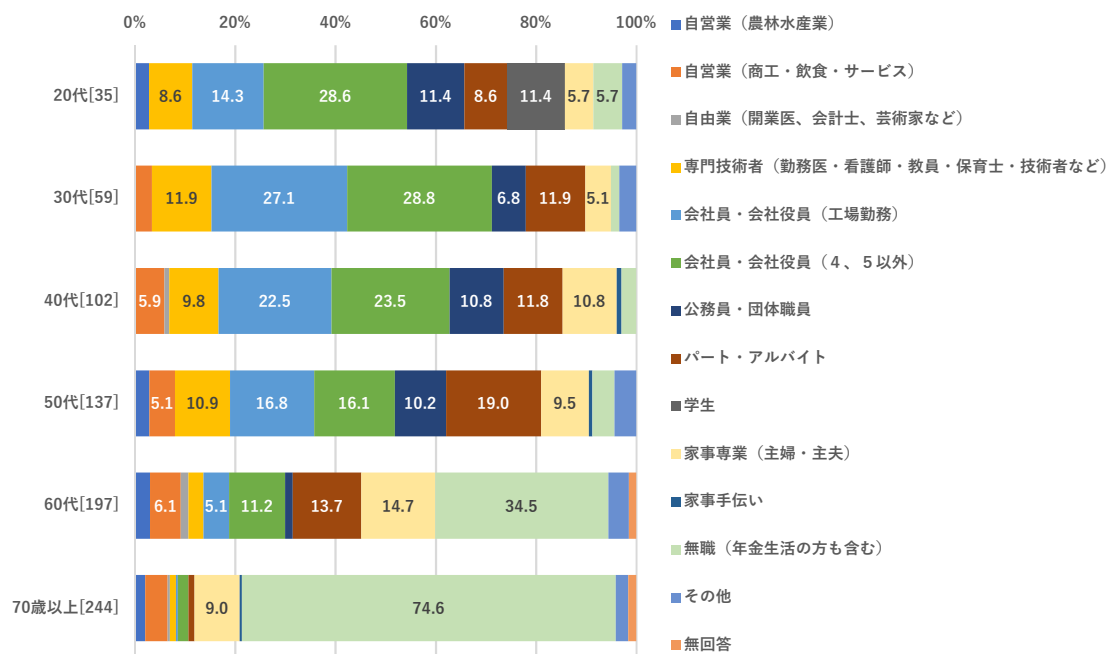
②年齢（問2）

- 「60代」と「70歳以上」を合計すると56.6%となり、回答者の半数以上が60歳以上となっています。



③職業（問3）

- 「無職（年金生活の方も含む）」が33.6%で最も高く、次いで「会社員・会社役員（4、5以外）」12.8%、「家事専業（主婦・主夫）」10.3%の順となっています。
- 年代別にみると「60代」「70歳以上」で「無職（年金生活の方も含む）」の割合が高くなっており、回答者の半数以上が60歳以上であることから「無職（年金生活の方も含む）」の割合を押し上げた結果となっています。



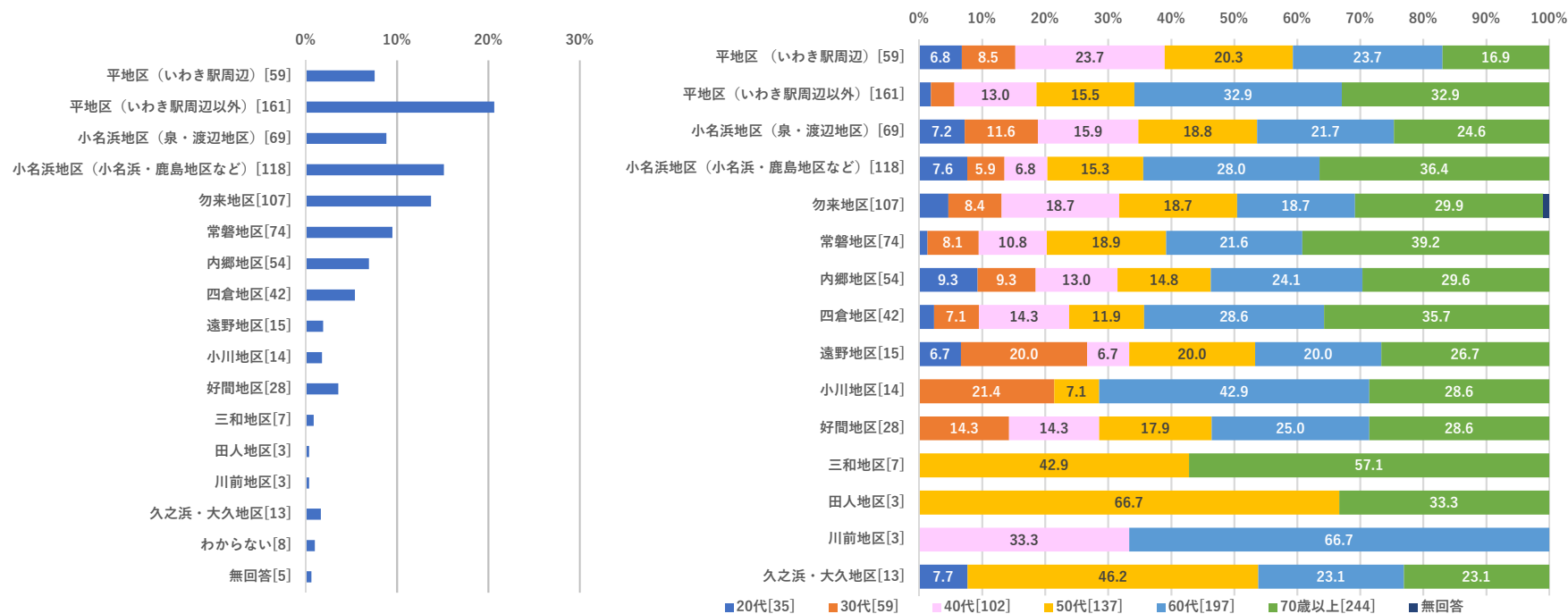
※ [] : 回答者数

2. 調査結果

(1)回答者の属性

④お住まいの地域（問4）

- 全体では「平地区（いわき駅周辺以外）」が20.6%で最も高く、次いで「小名浜地区（小名浜・鹿島地区など）」15.1%、「勿来地区」13.7%、「常磐地区」9.5%の順となっています。
- 年代別にみると、回答数が少ないものの、「遠野地区」「小川地区」が30代以下の割合が3割を超えていますが、地域別にみても60歳以上の割合が高くなっています。

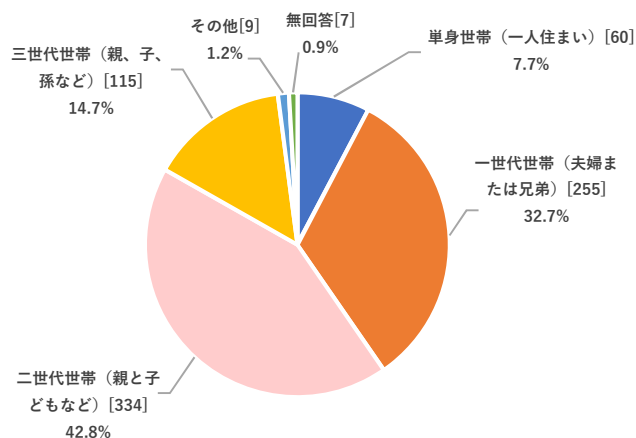


※ [] : 回答者数

(1)回答者の属性

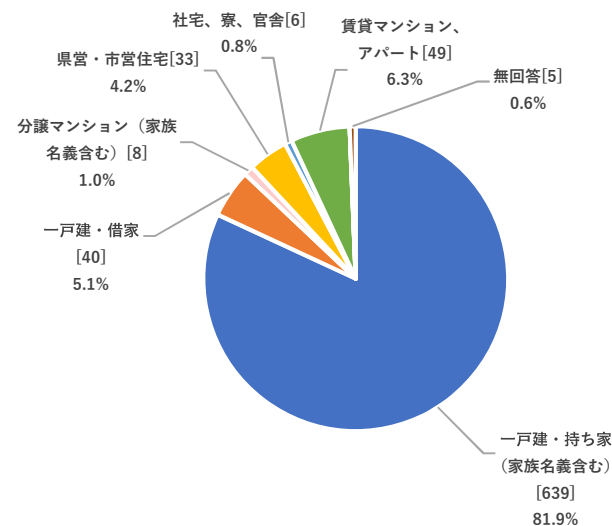
⑤家族構成（問5）

- 「二世代世帯（親と子どもなど）」が42.8%で最も高く、次いで「一世代世帯（夫婦または兄弟）」32.7%、「三世代世帯（親、子、孫など）」14.7%の順となっています。



⑥居住形態【問6】

- 「一戸建・持ち家（家族名義含む）」が81.9%で圧倒的に高くなっています。



※ [] : 回答者数

2. 調査結果

(2)日常生活について[問7～問11]

①日常生活において利用する場所、利用頻度、交通手段、所要時間（問7）

毎日の食料品などの日用品の買い物

【利用する場所】

- 「平地区（いわき駅周辺以外）」が20.1%で最も高く、次いで「小名浜地区（小名浜・鹿島地区など）」15.6%、「平地区（いわき駅周辺）」「勿来地区」14.0%の順となっています。

【施設の利用頻度】

- 「週に1～2回程度」が48.7%で最も高く、次いで「ほとんど毎日」29.9%の順となっています。

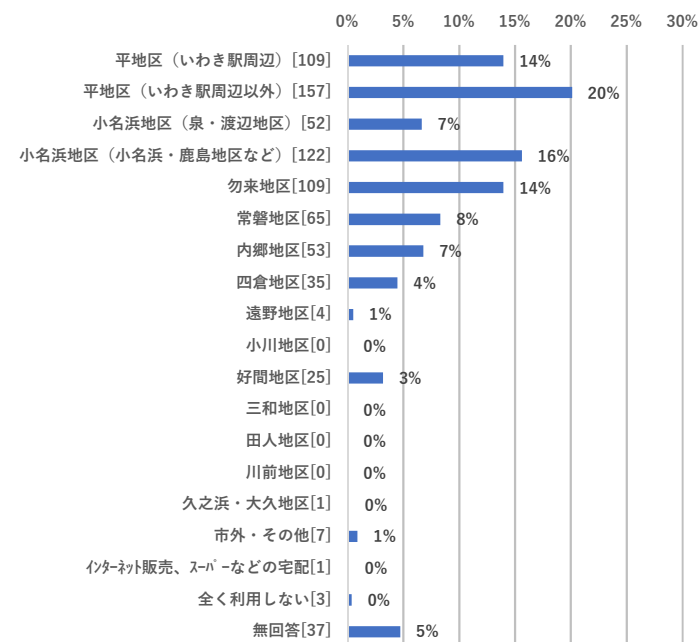
【交通手段】

- 「自家用車（自分で運転）」が69.9%で圧倒的に高く、「自家用車（家族等による送迎）」13.5%を含めると、移動手段として自家用車利用が8割を超えています。

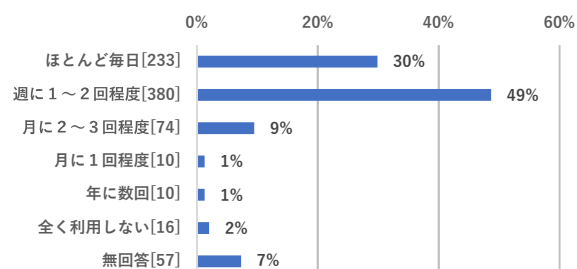
【所要時間】

- 「15分未満」が42.2%で最も高く、次いで「30分未満」21.2%、「5分未満」17.9%の順となっています。

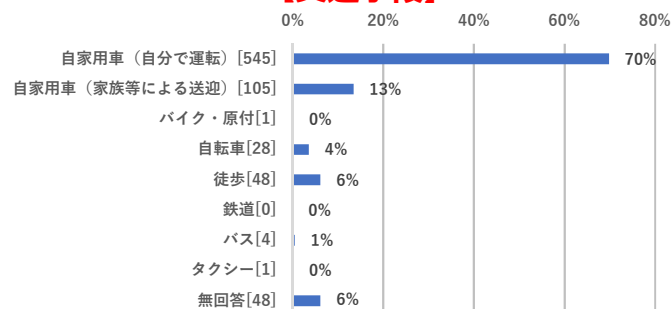
【利用する場所】



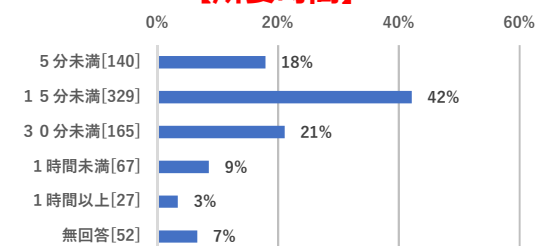
【施設の利用頻度】



【交通手段】



【所要時間】



※ [] : 回答者数

2. 調査結果

(2)日常生活について[問7～問11]

①日常生活において利用する場所、利用頻度、交通手段、所要時間（問7）

家具・家電などの日用品以外の買い物

【利用する場所】

- 「小名浜地区（小名浜・鹿島地区など）」が28.5%で最も高く、次いで「平地区（いわき駅周辺以外）」24.7%、「平地区（いわき駅周辺）」18.3%の順となっています。

【施設の利用頻度】

- 「年に数回」が44.5%で最も高く、次いで「月に1回程度」19.9%、「月に2～3回程度」14.1%順となっています。

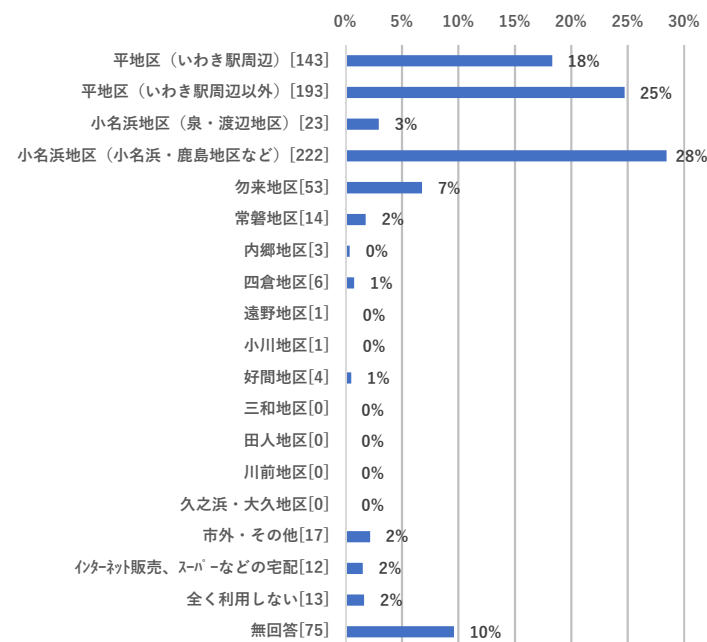
【交通手段】

- 「自家用車（自分で運転）」が66.2%で圧倒的に高く、「自家用車（家族等による送迎）」16.8%を含めると、移動手段として自家用車利用が8割を超えています。

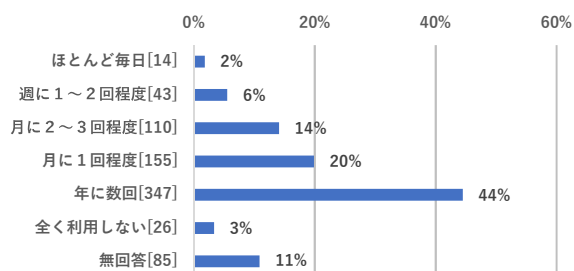
【所要時間】

- 「30分未満」が34.6%で最も高く、次いで「15分未満」24.7%、「1時間未満」15.8%の順となっています。

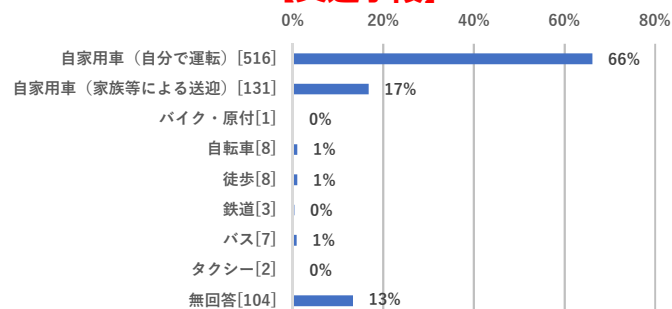
【利用する場所】



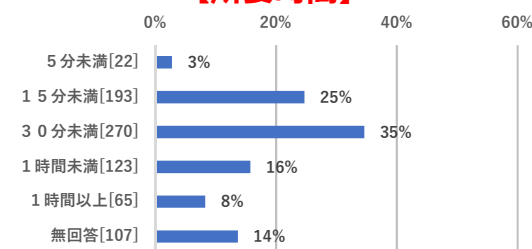
【施設の利用頻度】



【交通手段】



【所要時間】



※ [] : 回答者数

2. 調査結果

(2)日常生活について[問7～問11]

①日常生活において利用する場所、利用頻度、交通手段、所要時間（問7）

衣料品・雑貨などの買い物

【利用する場所】

- 「平地区（いわき駅周辺以外）」が22.9%で最も高く、次いで「小名浜地区（小名浜・鹿島地区など）」20.9%、「平地区（いわき駅周辺）」20.6%の順となっています。

【施設の利用頻度】

- 「月に1回程度」が30.5%で最も高く、次いで「月に2～3回程度」27.9%、「年に数回」18.5%順となっています。

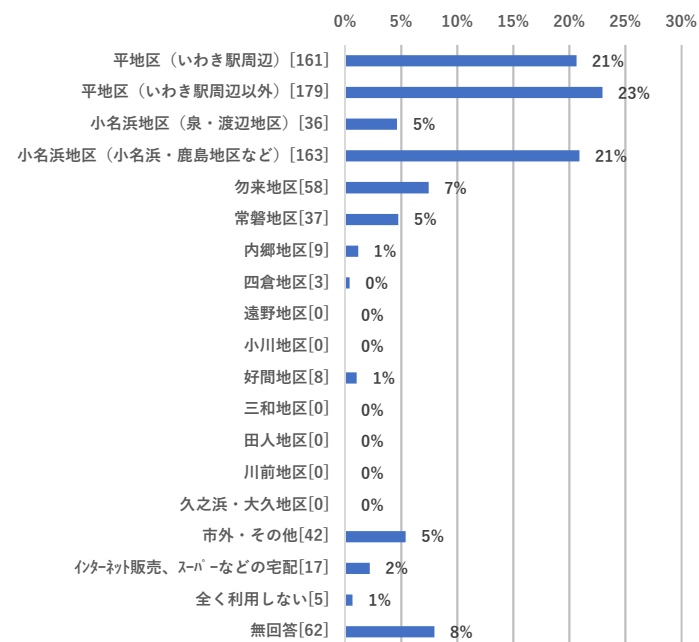
【交通手段】

- 「自家用車（自分で運転）」が67.3%で圧倒的に高く、「自家用車（家族等による送迎）」14.7%を含めると、移動手段として自家用車利用が8割を超えています。

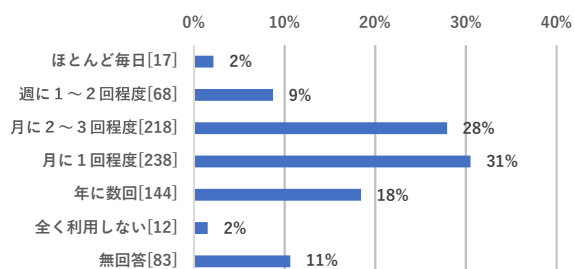
【所要時間】

- 「30分未満」が30.9%で最も高く、次いで「15分未満」26.8%、「1時間未満」15.3%の順となっています。年代別にみても、ほぼ全体と同様の傾向となっています。

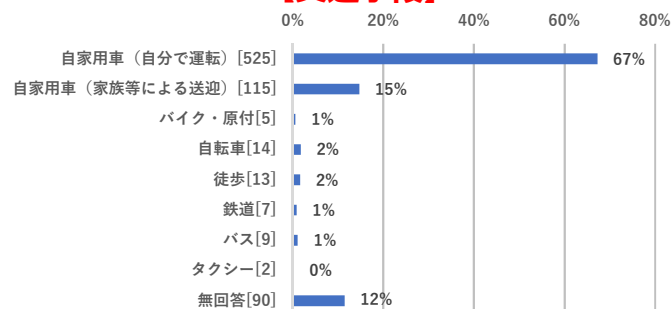
【利用する場所】



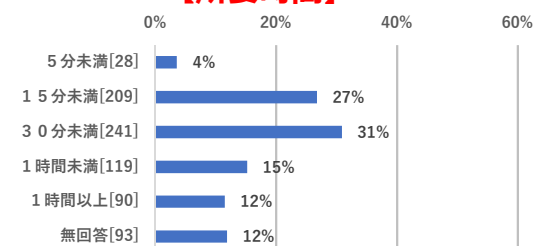
【施設の利用頻度】



【交通手段】



【所要時間】



※ [] : 回答者数

2. 調査結果

(2)日常生活について[問7～問11]

①日常生活において利用する場所、利用頻度、交通手段、所要時間（問7）

病院、医院、クリニック、診療所

【利用する場所】

- 「平地区（いわき駅周辺以外）」が21.5%で最も高く、次いで「小名浜地区（小名浜・鹿島地区など）」14.9%、「平地区（いわき駅周辺）」14.2%の順となっています。

【施設の利用頻度】

- 「月に1回程度」が41.8%で最も高く、次いで「年に数回」30.1%、「月に2～3回程度」12.1%順となっています。

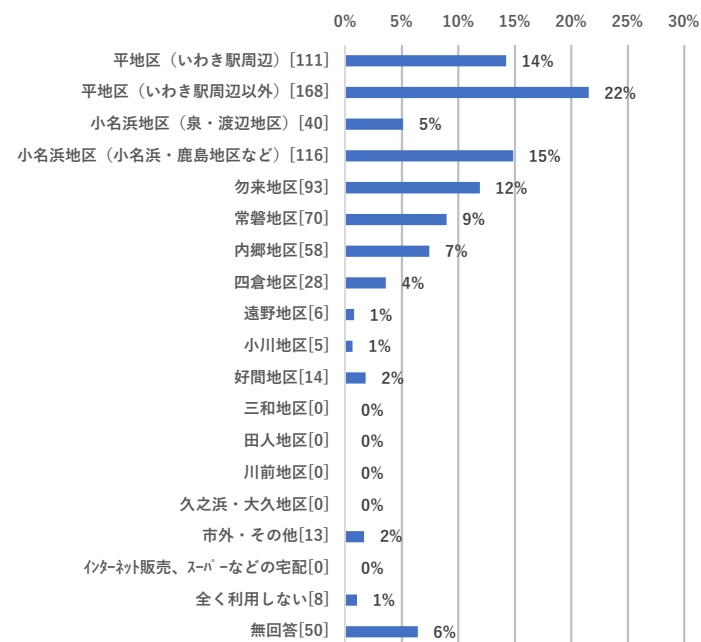
【交通手段】

- 「自家用車（自分で運転）」が69.1%で圧倒的に高く、「自家用車（家族等による送迎）」11.2%を含めると、移動手段として自家用車利用が8割を超えています。

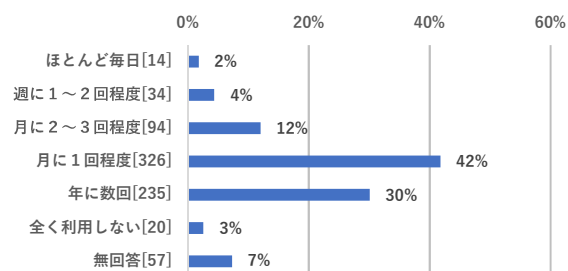
【所要時間】

- 「15分未満」が30.0%で最も高く、次いで「30分未満」29.0%、「1時間未満」12.7%の順となっています。

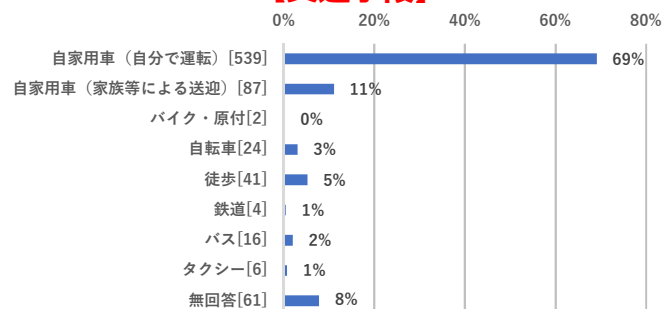
【利用する場所】



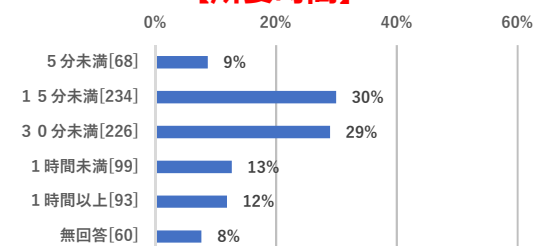
【施設の利用頻度】



【交通手段】



【所要時間】



※ [] : 回答者数

2. 調査結果

(2)日常生活について[問7～問11]

①日常生活において利用する場所、利用頻度、交通手段、所要時間（問7）

介護、福祉施設

【利用する場所】

- 「全く利用しない」が46.3%で最も高く、次いで「無回答」35.9%の順となっています。

【施設の利用頻度】

- 「全く利用しない」が58.3%で最も高く、次いで「無回答」35.3%の順となっています。

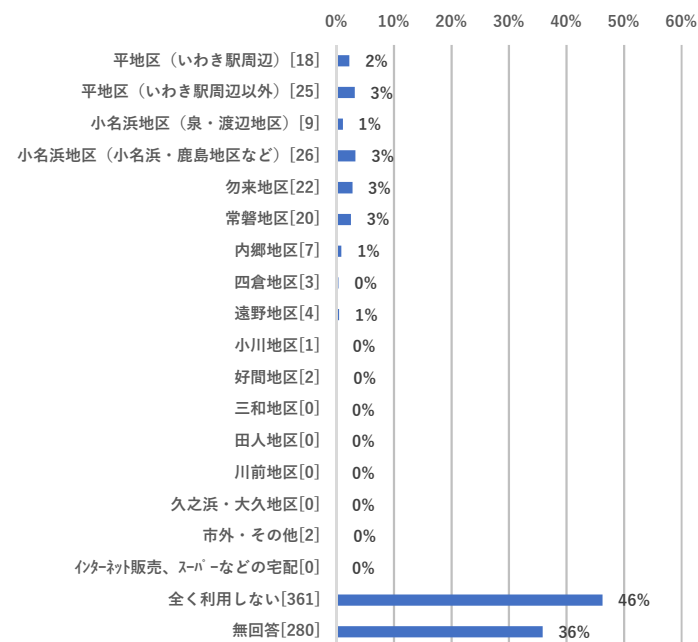
【交通手段】

- 施設利用者が少ない状況にあるため、「無回答」が79.2%で圧倒的に高くなっていますが、利用者の移動手段については「自家用車（自分で運転）」「自家用車（家族等による送迎）」が殆どを占めています。

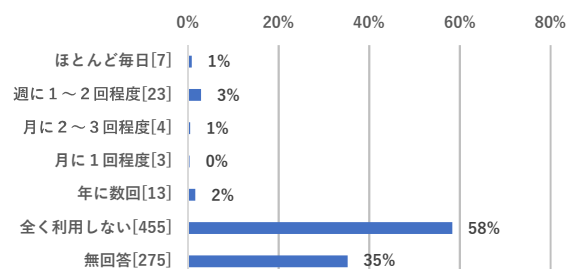
【所要時間】

- 施設利用者が少ない状況にあるため、「無回答」が83.6%で圧倒的に高くなっていますが、利用者の所要時間については「15分未満」「30分未満」の割合が高くなっています。

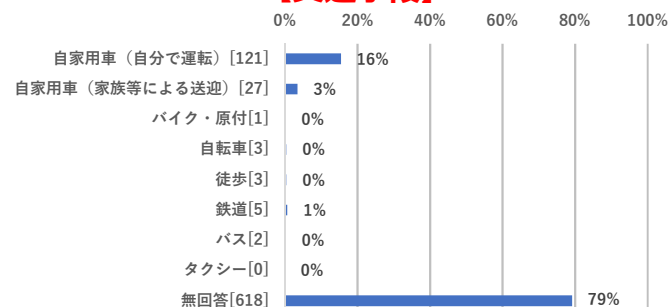
【利用する場所】



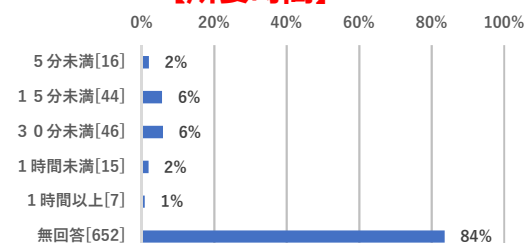
【施設の利用頻度】



【交通手段】



【所要時間】



※ [] : 回答者数

2. 調査結果

(2)日常生活について[問7～問11]

①日常生活において利用する場所、利用頻度、交通手段、所要時間（問7）

幼稚園、保育園

【利用する場所】

- 「全く利用しない」が43.7%で最も高く、次いで「無回答」40.6%の順となっています。

【施設の利用頻度】

- 「全く利用しない」が56.8%で最も高く、次いで「無回答」35.6%の順となっています。

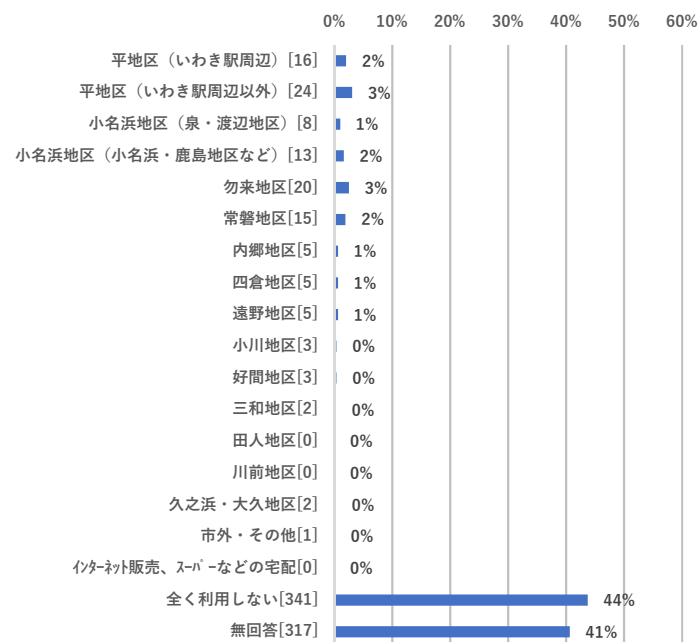
【交通手段】

- 施設利用者が少ない状況にあるため、「無回答」が76.2%で圧倒的に高くなっていますが、利用者の移動手段については「自家用車（自分で運転）」「自家用車（家族等による送迎）」が殆どを占めています。

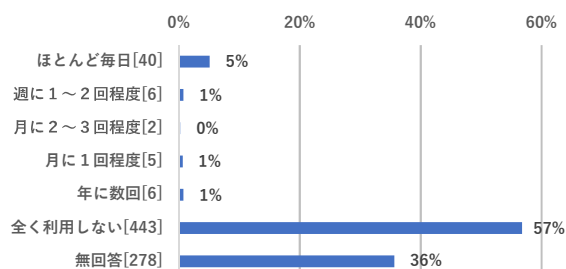
【所要時間】

- 施設利用者が少ない状況にあるため、「無回答」が80.5%で圧倒的に高くなっていますが、利用者の所要時間については「15分未満」「30分未満」の割合が高くなっています。

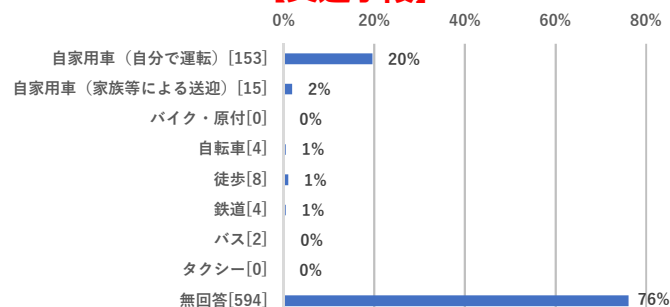
【利用する場所】



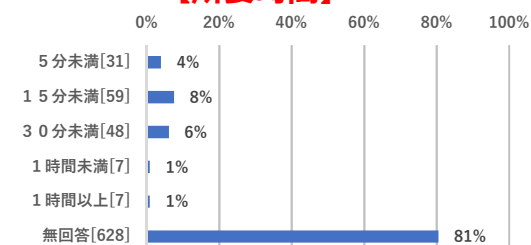
【施設の利用頻度】



【交通手段】



【所要時間】



※ [] : 回答者数

2. 調査結果

(2)日常生活について[問7～問11]

①日常生活において利用する場所、利用頻度、交通手段、所要時間（問7）

郵便局、銀行

【利用する場所】

- 「平地区（いわき駅周辺以外）」が16.8%で最も高く、次いで「小名浜地区（小名浜・鹿島地区など）」16.0%、「平地区（いわき駅周辺）」15.5%の順となっています。

【施設の利用頻度】

- 「月に2～3回程度」が34.6%で最も高く、次いで「月に1回程度」30.8%、「年に数回程度」13.1%順となっています。

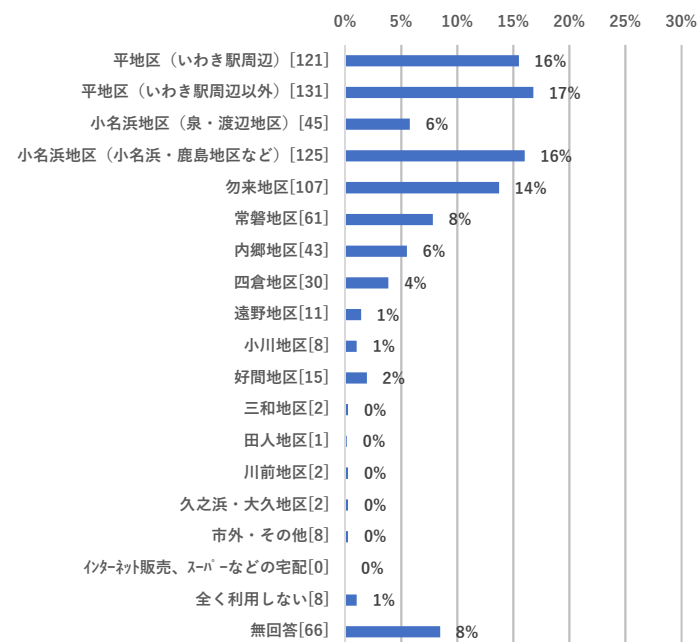
【交通手段】

- 「自家用車（自分で運転）」が67.3%で圧倒的に高く、「自家用車（家族等による送迎）」9.0%を含めると、移動手段として自家用車利用が7割を超えています。他の施設に比べて「自転車」「徒歩」の利用者も多い傾向にあります。

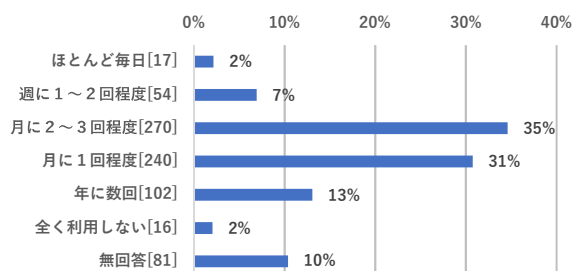
【所要時間】

- 「15分未満」が45.1%で最も高く、次いで「30分未満」23.8%、「5分未満」13.3%の順となっています。

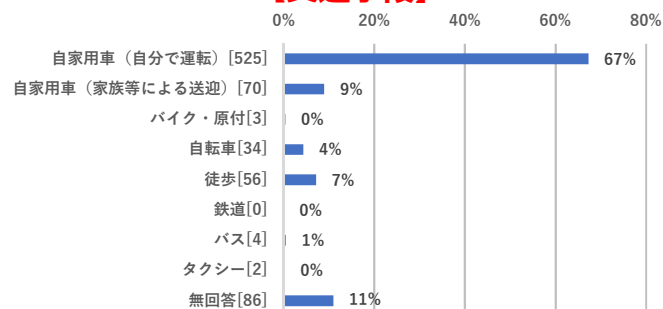
【利用する場所】



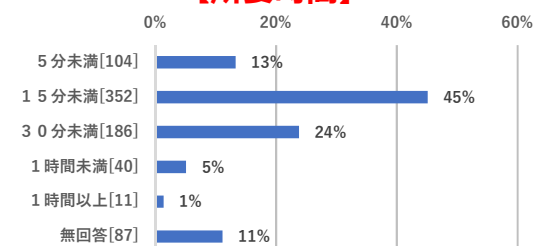
【施設の利用頻度】



【交通手段】



【所要時間】



※ [] : 回答者数

2. 調査結果

(2)日常生活について[問7～問11]

①日常生活において利用する場所、利用頻度、交通手段、所要時間（問7）

市役所（支所）

【利用する場所】

- 「平地区（いわき駅周辺）」が15.5%で最も高く、次いで「小名浜地区（小名浜・鹿島地区など）」14.1%、「平地区（いわき駅周辺以外）」12.4%の順となっています。

【施設の利用頻度】

- 「年に数回」が70.3%で最も高く、次いで「月に1回程度」7.2%、「全く利用しない」6.7%順となっています（「無回答」を除く）。

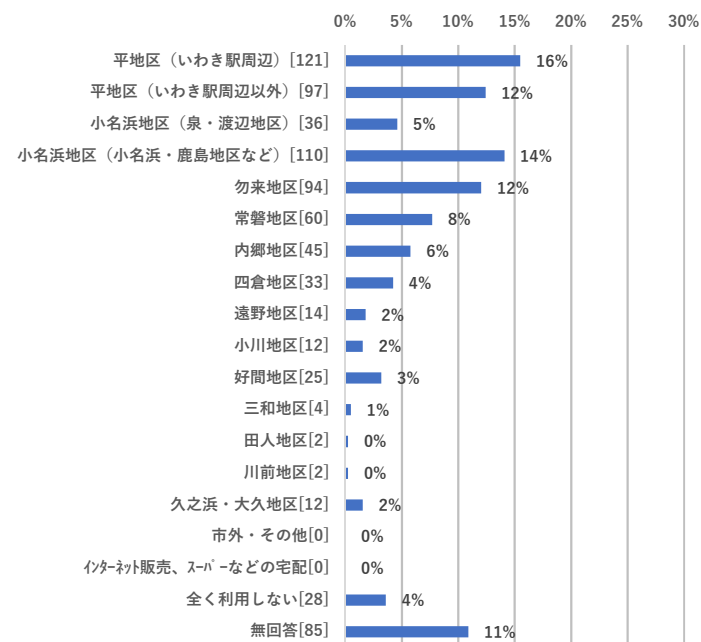
【交通手段】

- 「自家用車（自分で運転）」が66.0%で圧倒的に高く、「自家用車（家族等による送迎）」8.8%を含めると、移動手段として自家用車利用が7割を超えています。

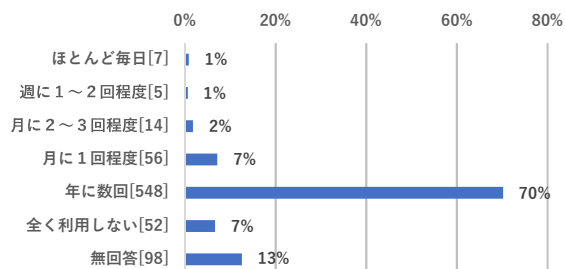
【所要時間】

- 「15分未満」が39.9%で最も高く、次いで「30分未満」25.1%、「5分未満」9.6%の順となっています。

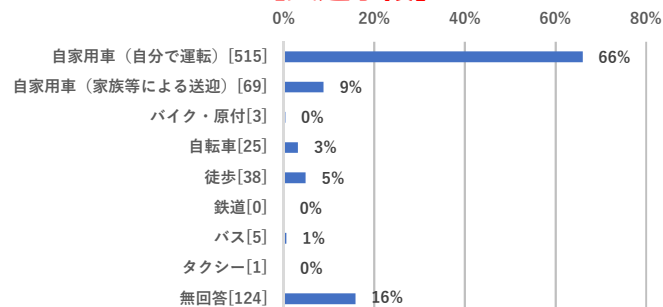
【利用する場所】



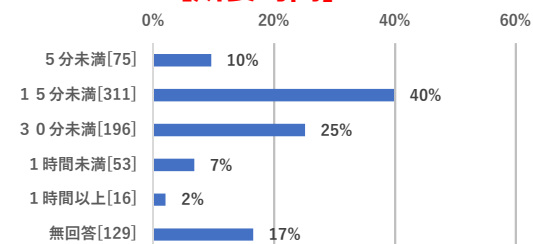
【施設の利用頻度】



【交通手段】



【所要時間】



※ [] : 回答者数

2. 調査結果

(2)日常生活について[問7～問11]

①日常生活において利用する場所、利用頻度、交通手段、所要時間（問7）

公民館、図書館

【利用する場所】

- 「平地区（いわき駅周辺）」が19.4%で最も高く、次いで「平地区（いわき駅周辺以外）」8.3%、「勿来地区」7.7%の順となっています。

【施設の利用頻度】

- 「年に数回」が29.7%で最も高く、次いで「全く利用しない」29.1%、「月に1回程度」9.4%順となっています（「無回答」を除く）。

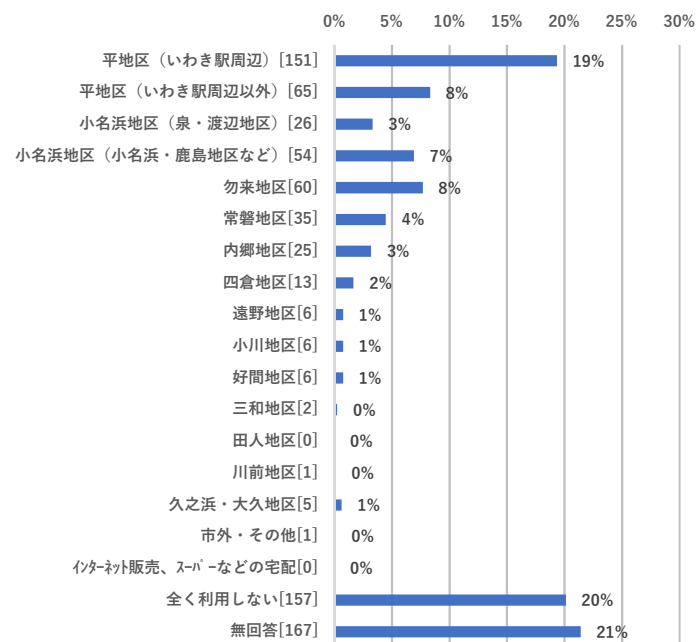
【交通手段】

- 「自家用車（自分で運転）」が46.3%で圧倒的に高く、次いで「自家用車（家族等による送迎）」5.0%、「徒歩」4.7%の順となっています（「無回答」を除く）。

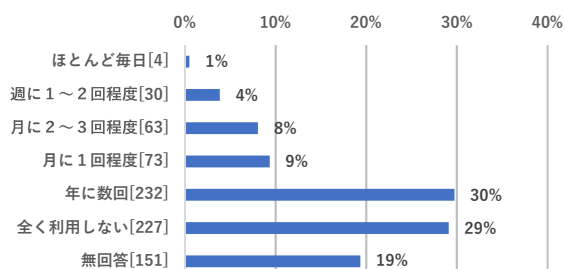
【所要時間】

- 「15分未満」が26.3%で最も高く、次いで「30分未満」15.9%、「5分未満」6.2%の順となっています（「無回答」を除く）。

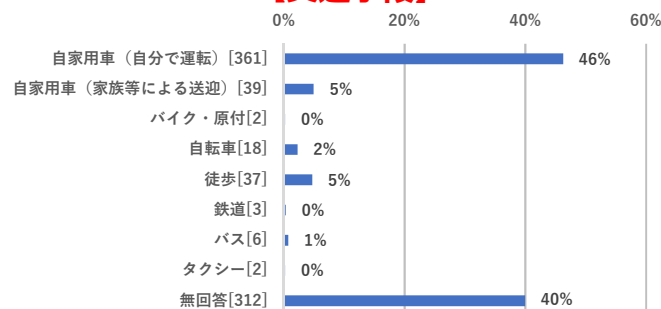
【利用する場所】



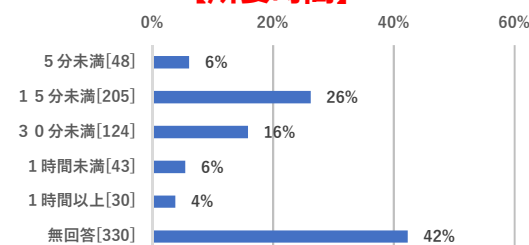
【施設の利用頻度】



【交通手段】



【所要時間】



※ [] : 回答者数

2. 調査結果

(2)日常生活について[問7～問11]

①日常生活において利用する場所、利用頻度、交通手段、所要時間（問7）

勤務先

【利用する場所】

- 回答者の半数以上を60歳以上の方が占めていることもあり、「全く利用しない」が12.4%で最も高く、次いで「小名浜地区（小名浜・鹿島地区など）」7.6%、「勿来地区」6.9%の順となっています（「無回答」を除く）。

【施設の利用頻度】

- 「ほとんど毎日」が45.3%で最も高く、次いで「全く利用しない」14.4%の順となっています（「無回答」を除く）。

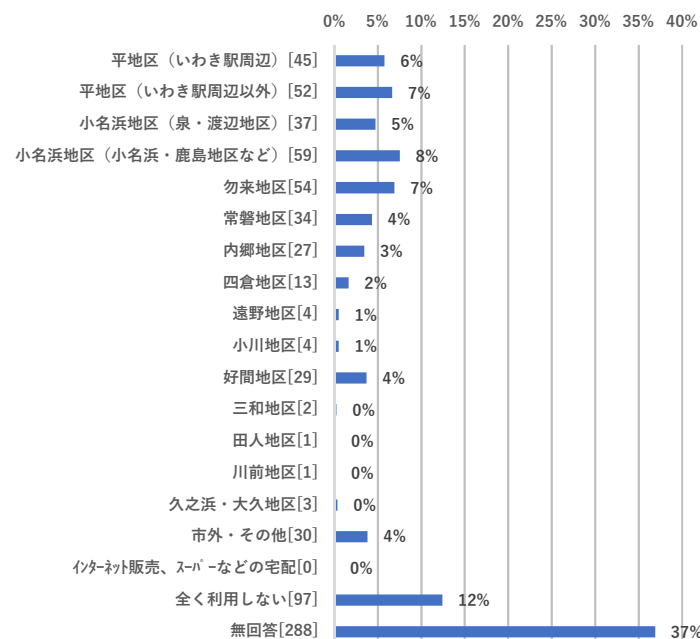
【交通手段】

- 自家用車（自分で運転）」が44.9%で圧倒的に高く、次いで、「徒歩」2.7%、「自転車」1.9%の順となっています（「無回答」を除く）。

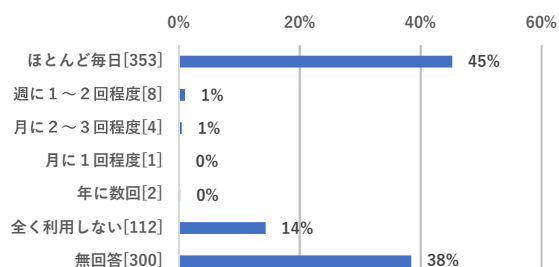
【所要時間】

- 「30分未満」が15.6%で最も高く、次いで「15分未満」15.1%、「5分未満」7.3%の順となっています（「無回答」を除く）。

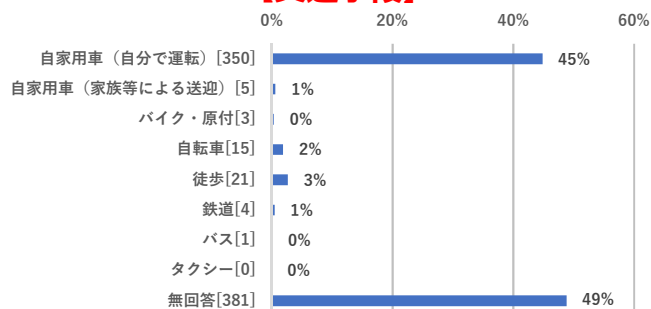
【利用する場所】



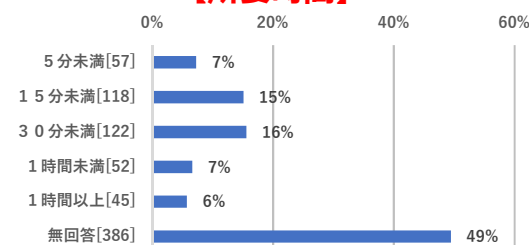
【施設の利用頻度】



【交通手段】



【所要時間】



※ [] : 回答者数

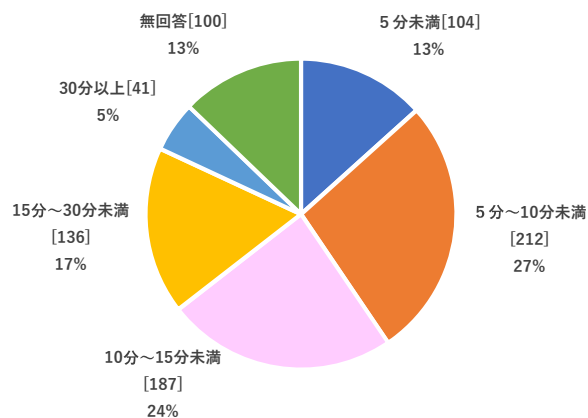
2. 調査結果

(2)日常生活について[問7～問11]

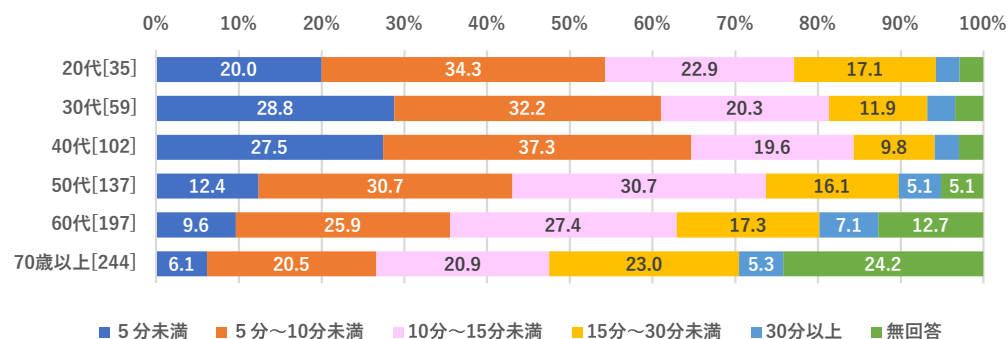
②日常サービス施設（商業・医療・子育て支援・公共施設など）を徒歩や自転車で利用する場合の施設までの許容時間（問8）

- 「徒歩」「自転車」ともに「5分～10分未満」が最も高く、次いで「10分～15分未満」、「15分～30分未満」の順となっています。

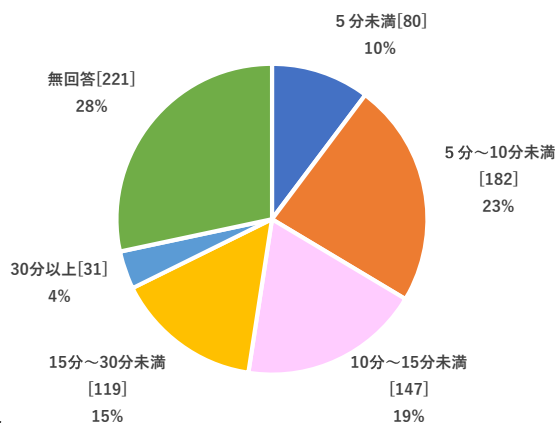
【徒歩】



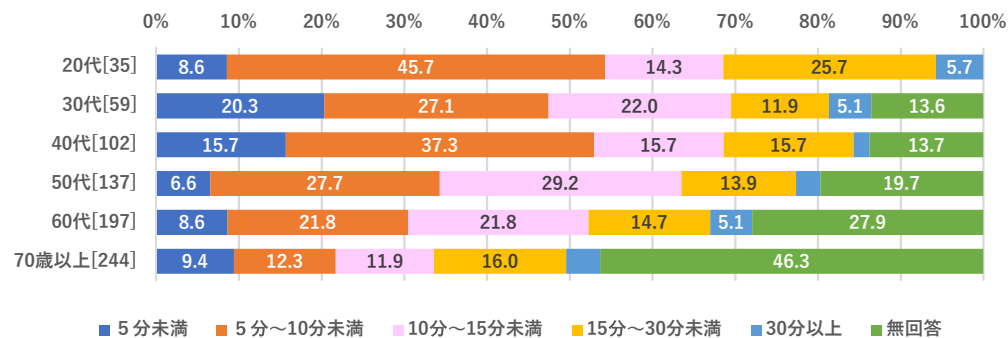
【年代別】



【自転車】



【年代別】



※ [] : 回答者数

2. 調査結果

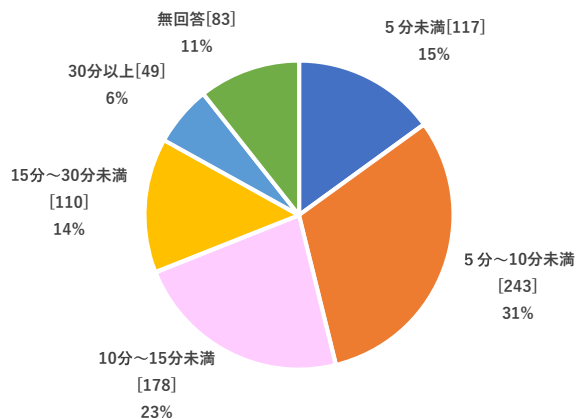
(2)日常生活について[問7～問11]

③徒歩や自転車で駅・バス停まで行く場合の許容時間（問9）

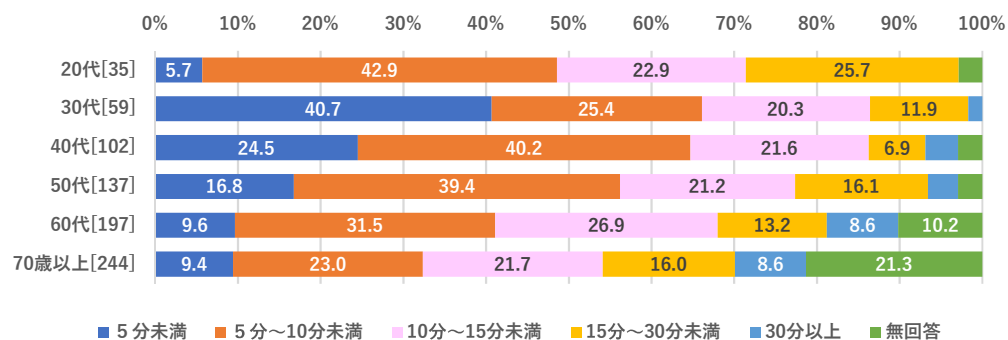
鉄道駅

- 「徒歩」「自転車」ともに「5分～10分未満」が最も高く、次いで「10分～15分未満」、「15分～30分未満」の順となっています。
- 年代別にみると、「徒歩」で「30代」は許容時間として「5分未満」の割合が高くなっているほか、「20代」では「15分～30分未満」の割合が他の年代に比べて高くなっています。「自転車」では全体と概ね同様の傾向になっています。

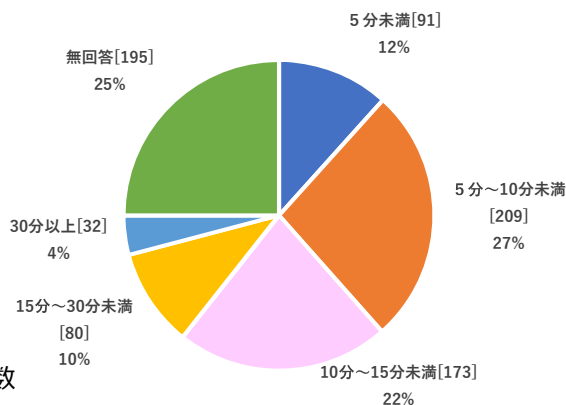
【徒歩】



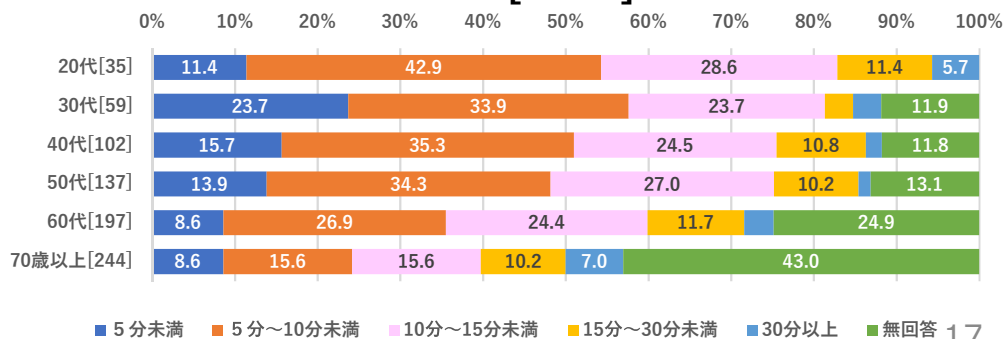
[年代別]



【自転車】



[年代別]



※ [] : 回答者数

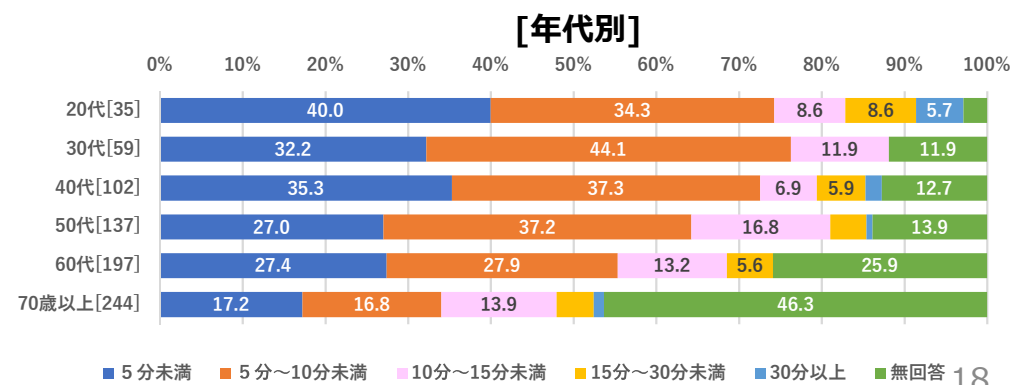
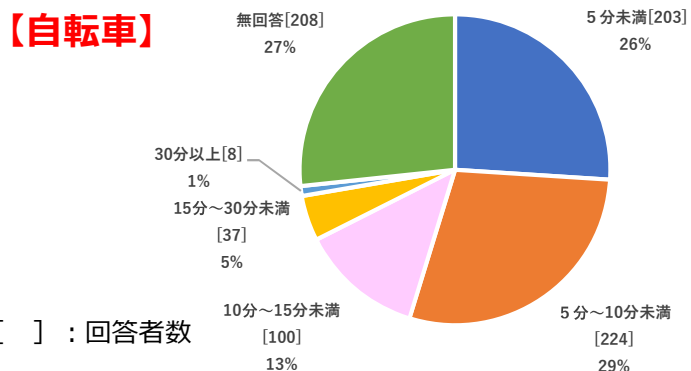
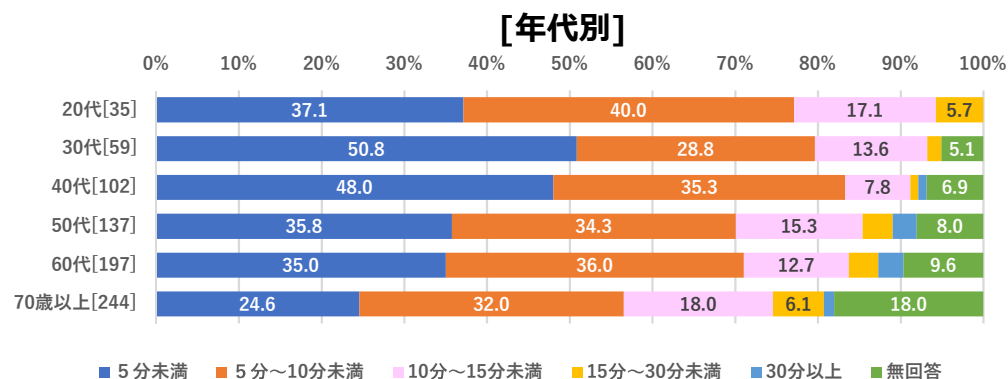
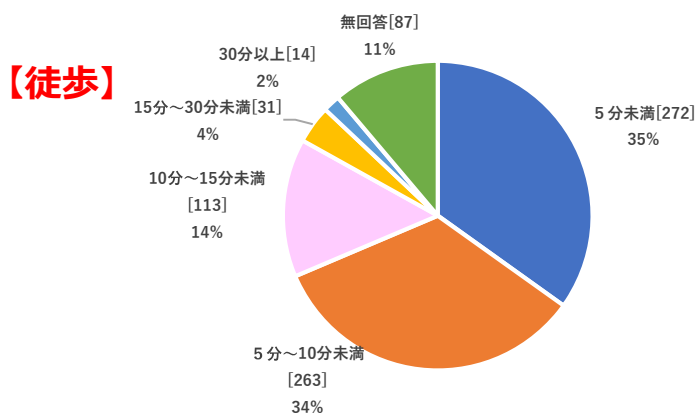
2. 調査結果

(2)日常生活について[問7～問11]

③徒歩や自転車で駅・バス停まで行く場合の許容時間（問9）

バス停

- 「徒歩」では「5分未満」、「自転車」では「5分～10分未満」が最も高くなっています。（「無回答」を除く）。
- 年代別にみても、概ね全体と同様の傾向になっています。



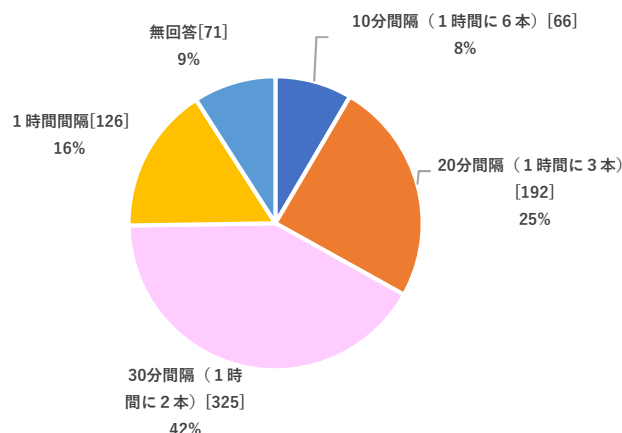
※ [] : 回答者数

(2)日常生活について[問7～問11]

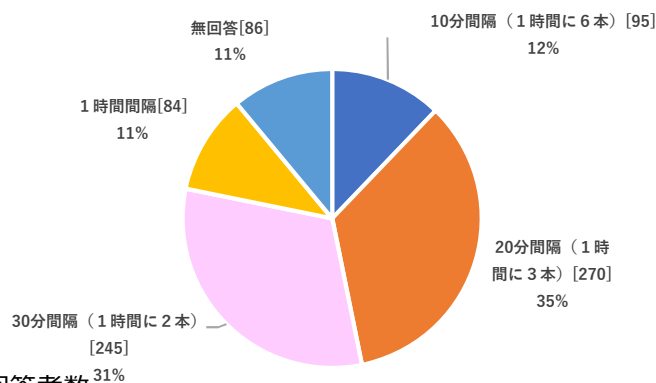
④鉄道・バスの運行間隔に対する許容時間（問10）

- 「鉄道」は「30分間隔（1時間に2本）」が41.7%で最も高く、次いで「20分間隔（1時間に3本）」24.6%、「1時間間隔」16.2%の順となっています。
- 「バス」は「20分間隔（1時間に3本）」が34.6%で最も高く、次いで「30分間隔（1時間に2本）」31.4%、「10分間隔（1時間に6本）」12.2%の順となっています。
- 年代別にみると、若い年代のほうが、短い運行間隔を望ましいと考えている傾向にあります。

鉄道

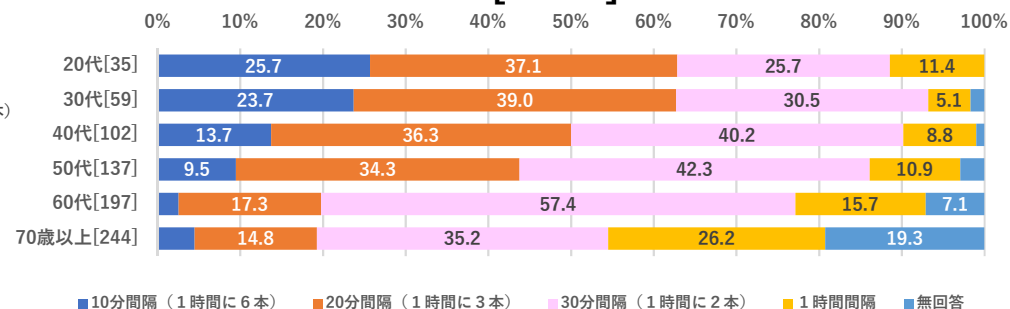


バス停

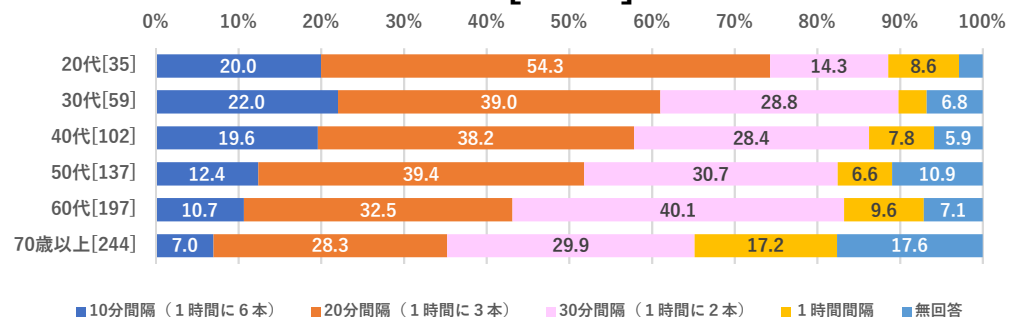


※ [] : 回答者数

[年代別]



[年代別]

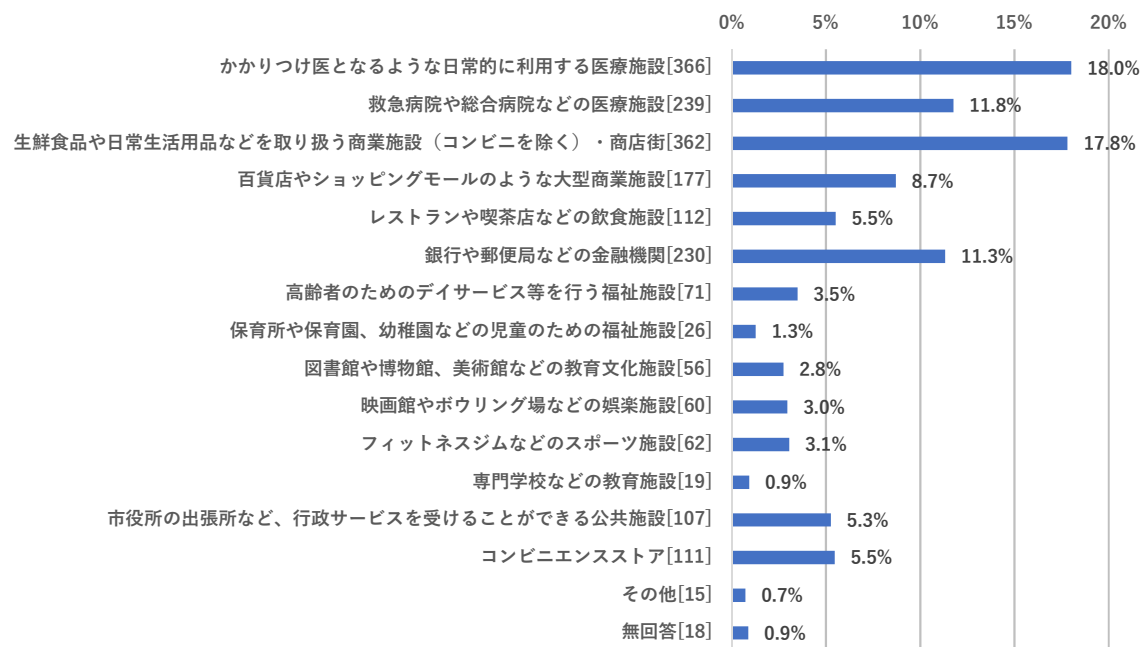


2. 調査結果

(2)日常生活について[問7～問11]

⑤日常生活において居住地にあれば生活しやすい施設（問11）

- 「かかりつけ医となるような日常的に利用する医療施設」が18.0%で最も高く、次いで「生鮮食品や日常生活用品などを取り扱う商業施設（コンビニを除く）・商店街」17.8%、「救急病院や総合病院などの医療施設」11.8%の順になっています。

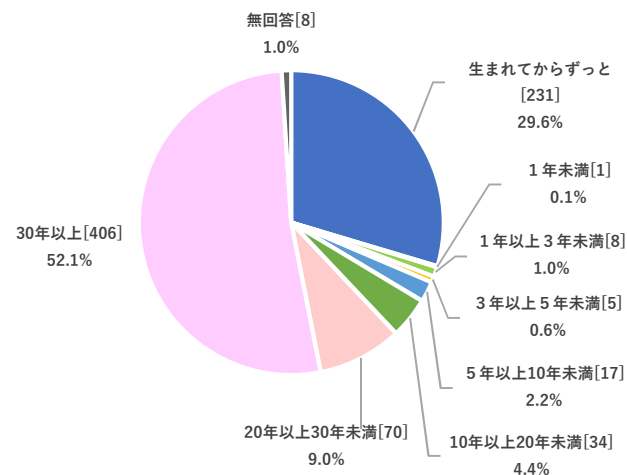


(複数回答)

(3)住まいについて [問12~問20]

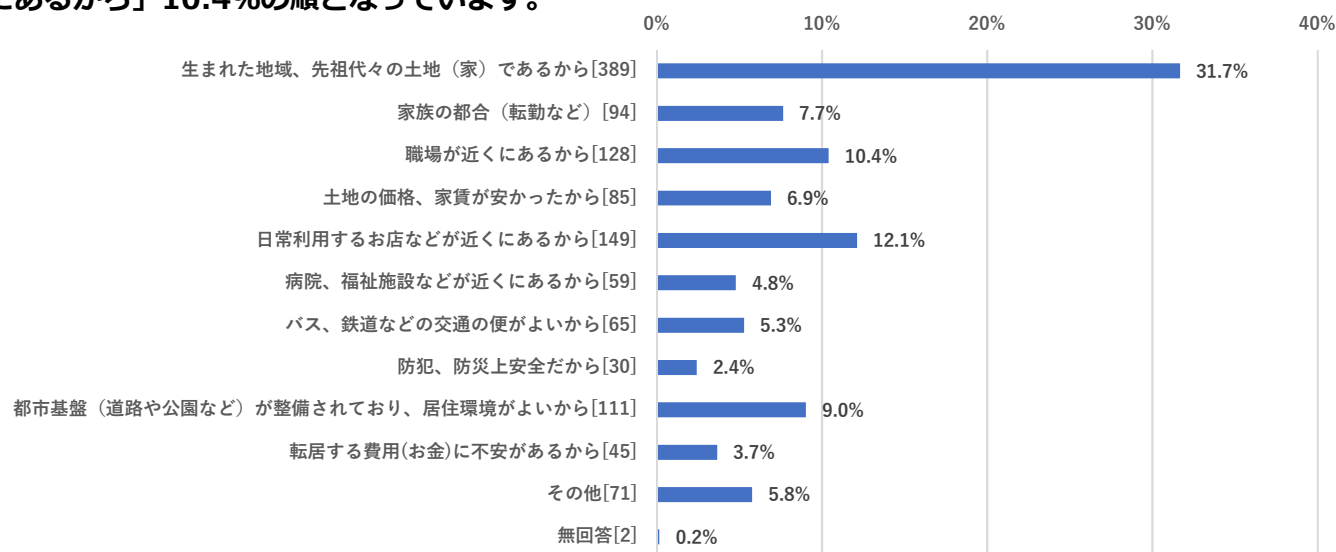
①居住年数 (問12)

- 「30年以上」が52.1%で最も高く、次いで「生まれてからずっと」29.6%、「20年以上30年未満」9.0%の順となっています。



②住んでいる理由 (問13)

- 「生まれた地域、先祖代々の土地(家)であるから」が31.7%で最も高く、次いで「日常利用するお店などが近くにあるから」12.1%、「職場が近くにあるから」10.4%の順となっています。



※ [] : 回答者数

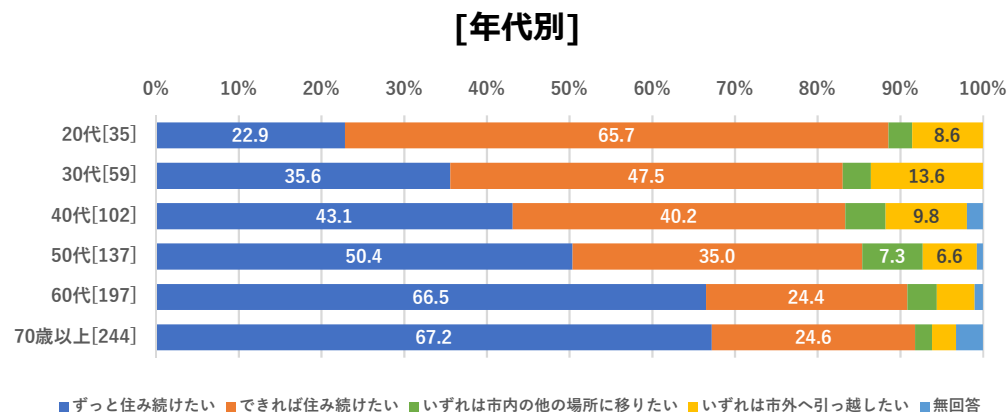
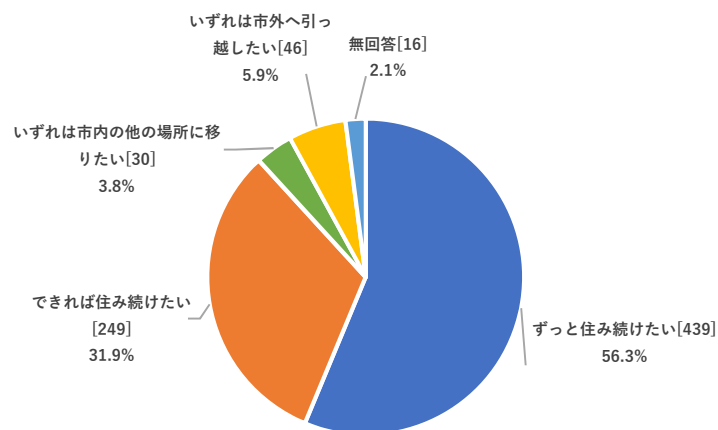
(複数回答)

2. 調査結果

(3)住まいについて [問12~問20]

③永住意向 (問14)

- 「ずっと住みたい」が56.3%で最も高く、次いで「できれば住みたい」31.9%となっており、今後も住みたいとの意向が約9割を占め、定住意向が強くなっています。
- 年代別にみると、年代が高くなるほど「ずっと住みたい」の割合が高くなっています。また、「いずれは市内の他の場所に移りたい」「いずれは市外へ引っ越したい」といった転居希望を持っている方々も50代より若い世代で、それぞれの世代で1割から2割近くいます。



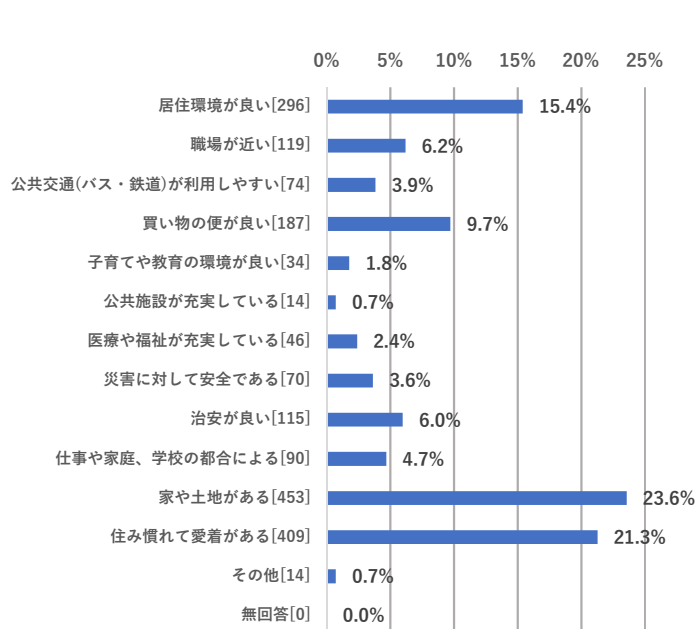
2. 調査結果

(3)住まいについて [問12~問20]

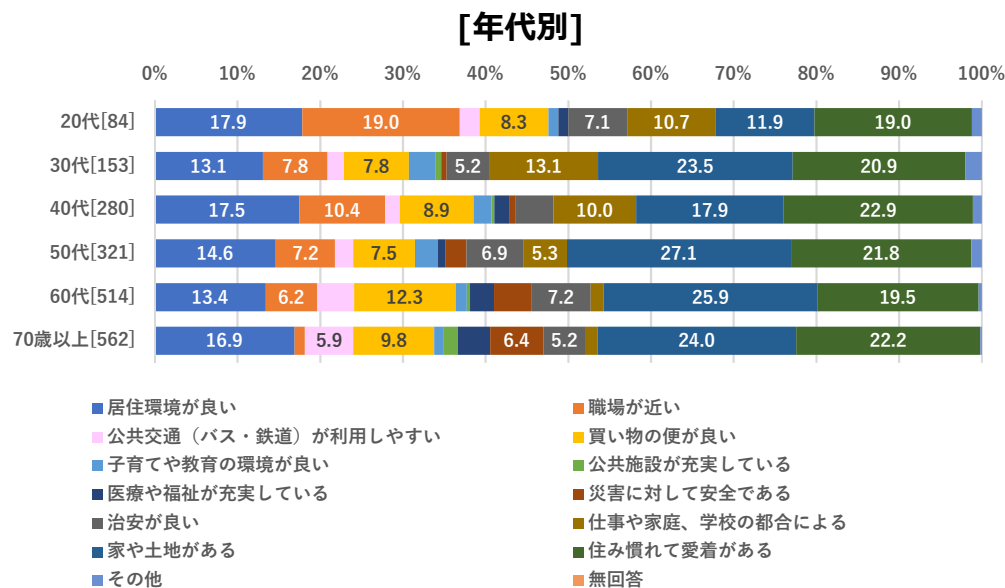
④住み続けたい理由 (問15)

※ 問14で「1. ずっと住み続けたい」または「2. できれば住み続けたい」を選んだ方みの回答

- 「家や土地がある」が23.6%で最も高く、次いで「住み慣れて愛着がある」21.3%、「居住環境が良い」15.4%の順となっています。
- 年代別にみると、若い年代ほど「職場が近い」や「仕事や学校の都合による」の割合が高くなっています。



(複数回答)



※ [] : 回答者数

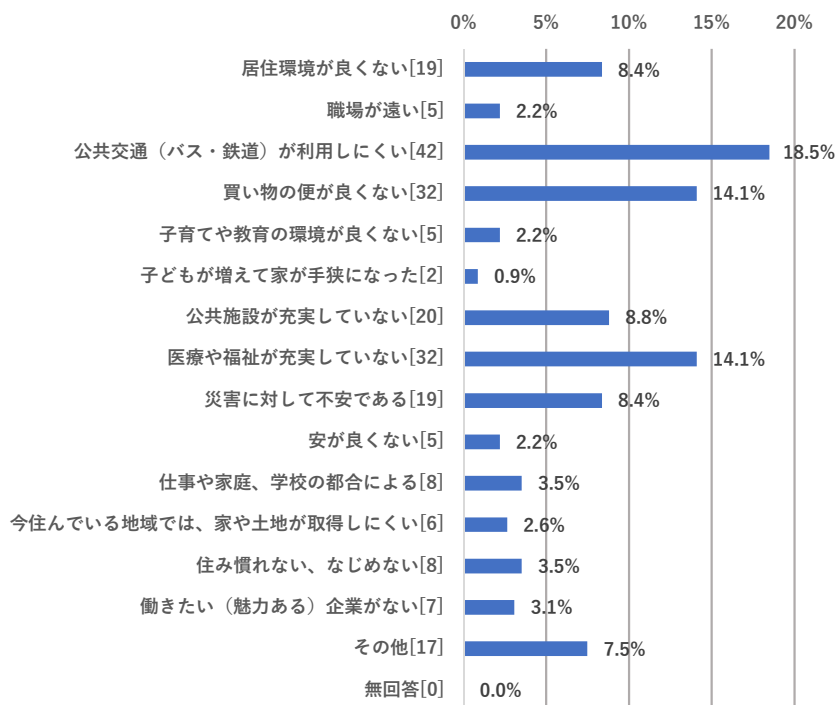
2. 調査結果

(3)住まいについて [問12~問20]

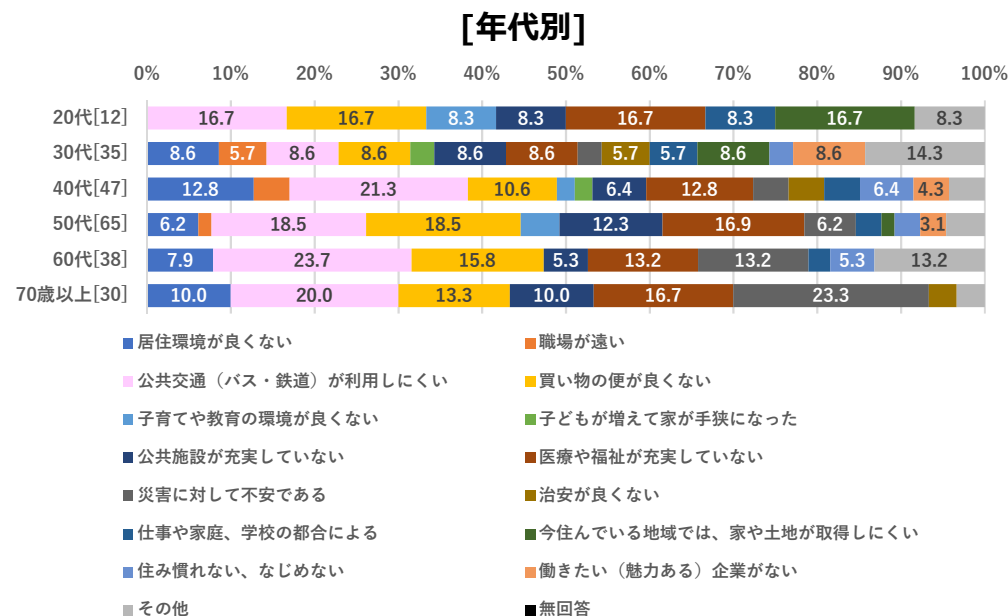
⑤ 転居したい理由 (問16)

※ 問14で「3. いずれは市内の他の場所に移りたい」または「4. いずれは市外へ引っ越したい」を選んだ方のみの回答

- 「公共交通（バス・鉄道）が利用しにくい」が18.5%で最も高く、次いで「買い物の便が良くない」「医療や福祉が充実していない」が並んで14.1%の順となっています。
- 年代別にみても、全体と概ね同様の傾向にありますが、それ以外としては「20代」「30代」では「今住んでいる地域では、家や土地が取得しにくい」の割合が高い傾向にあり、年代が高くなるほど「災害に対して不安である」の割合が高くなっています。



(複数回答)



※ [] : 回答者数

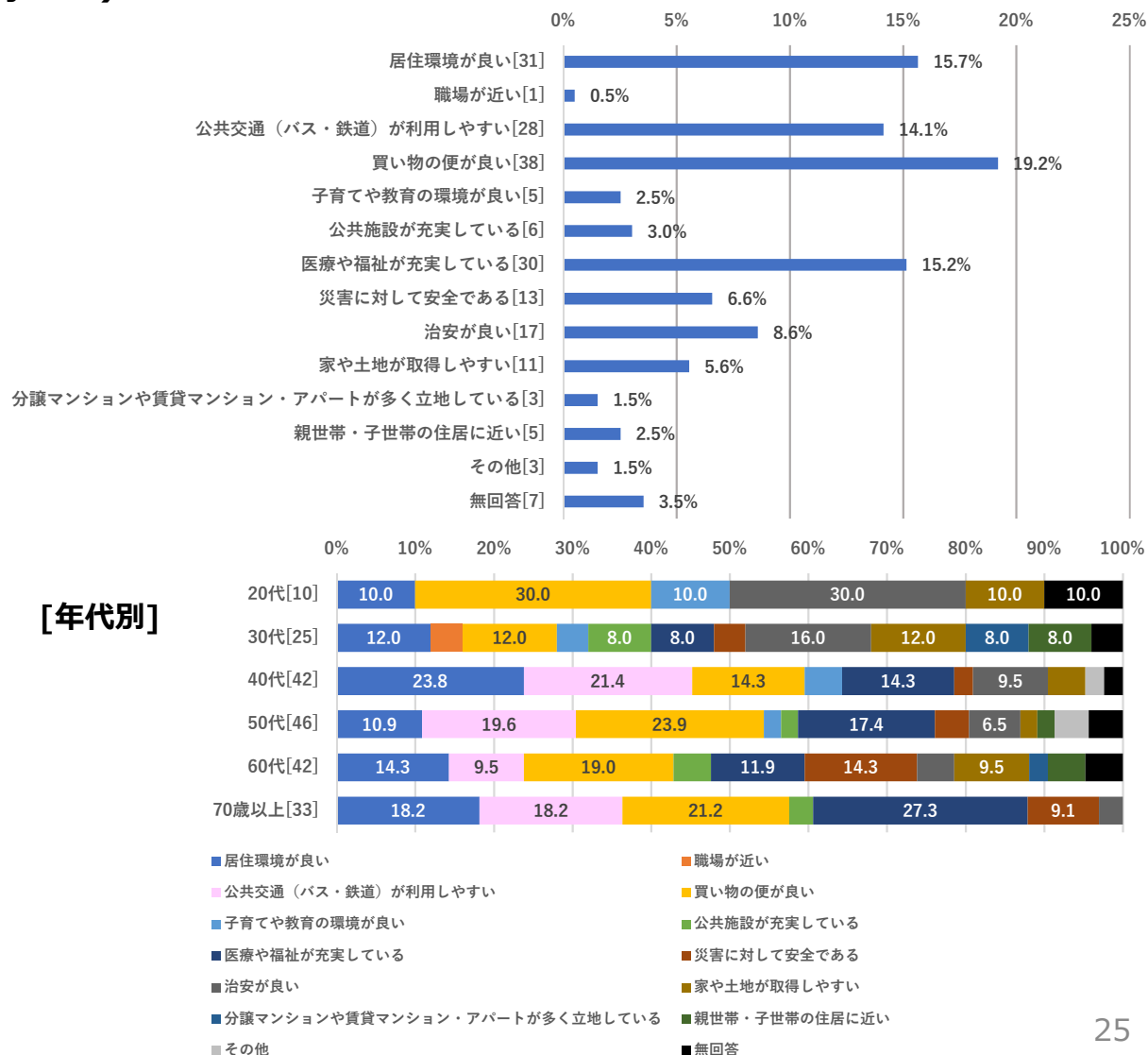
2. 調査結果

(3)住まいについて [問12~問20]

⑥転居先で重視する事項 (問17)

- 「買い物の便が良い」が19.2%で最も高く、次いで「居住環境が良い」15.7%、「医療や福祉が充実している」15.2%順となっており、問16の「転居したい理由」の回答で不満が高い項目について重視している割合が高くなっています。
- 年代別にみると、全体での傾向のほかに、若い世代ほど「治安が良い」を重視する割合が高くなっているほか、「20代」「30代」では「公共交通（バス・鉄道）が利用しやすい」の回答者がいませんでした。このほか、年代が高くなるほど「医療や福祉が充実している」を重視する割合が高くなっています。

※ 問14で「3. いずれは市内の他の場所に移りたい」または「4. いずれは市外へ引っ越したい」を選んだ方だけの回答



※ [] : 回答者数 (複数回答)

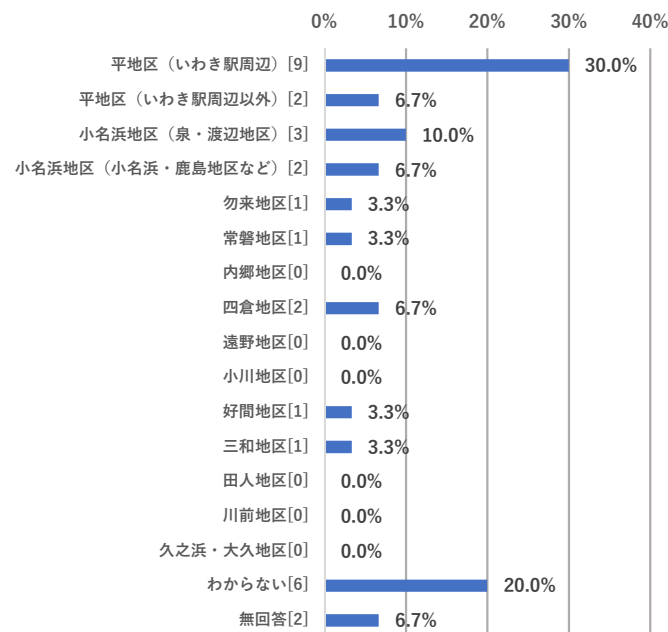
2. 調査結果

(3)住まいについて [問12~問20]

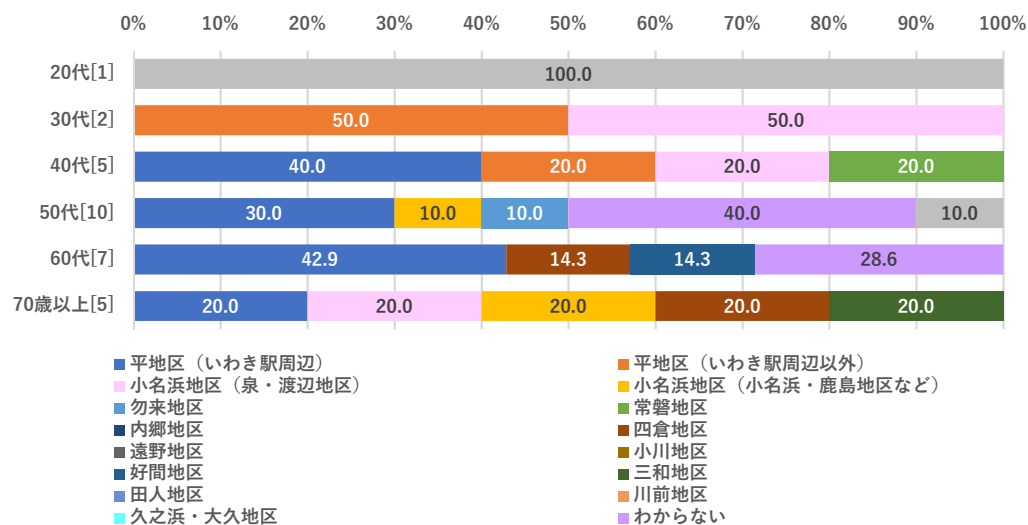
⑦住み替える場合に転居したい地域 (問18)

※ 問14で「3. いずれは市内の他の場所に移りたい」を選んだ方だけの回答

- 「平地区（いわき駅周辺）」が30.0%で最も高く、次いで「わからない」20.0%、「小名浜地区（泉・渡辺周辺）」10.0%の順となっています。
- 年代別の傾向としては、回答数が少ないため、結果のみを示します。



[年代別]



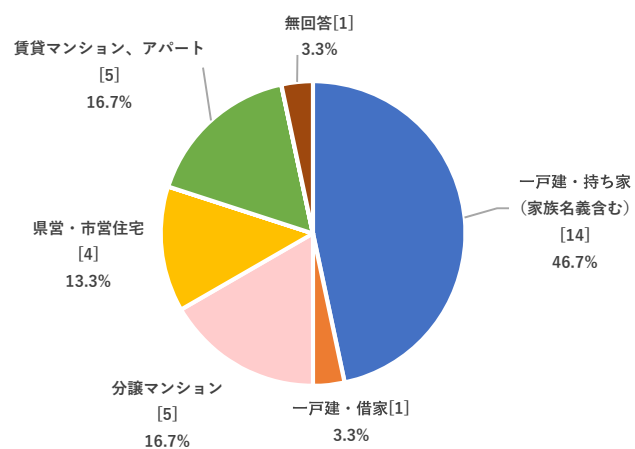
※ [] : 回答者数

(3)住まいについて [問12~問20]

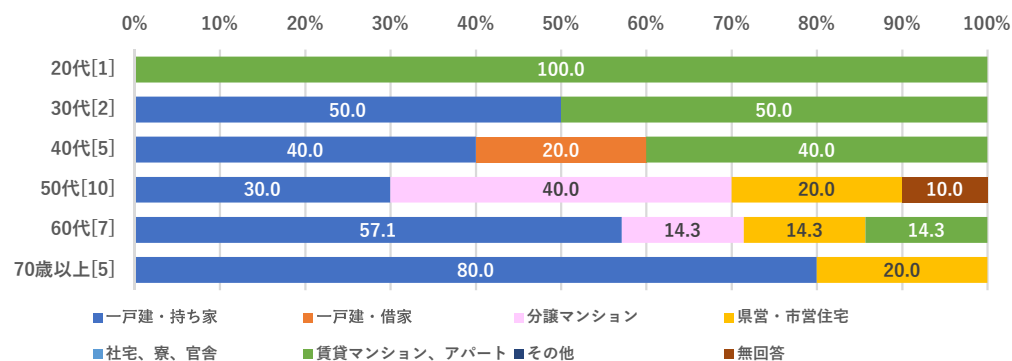
⑧ 住み替える場合の居住形態 (問19)

※ 問14で「3. いずれは市内の他の場所に移りたい」を選んだ方のみの回答

- 「一戸建・持ち家（家族名義含む）」が46.7%で最も高く、次いで「分譲マンション（家族名義含む）」「賃貸マンション、アパート」が並んで16.7%の順となっています。
- 年代別の傾向としては、回答数が少ないため、結果のみを示します。



[年代別]



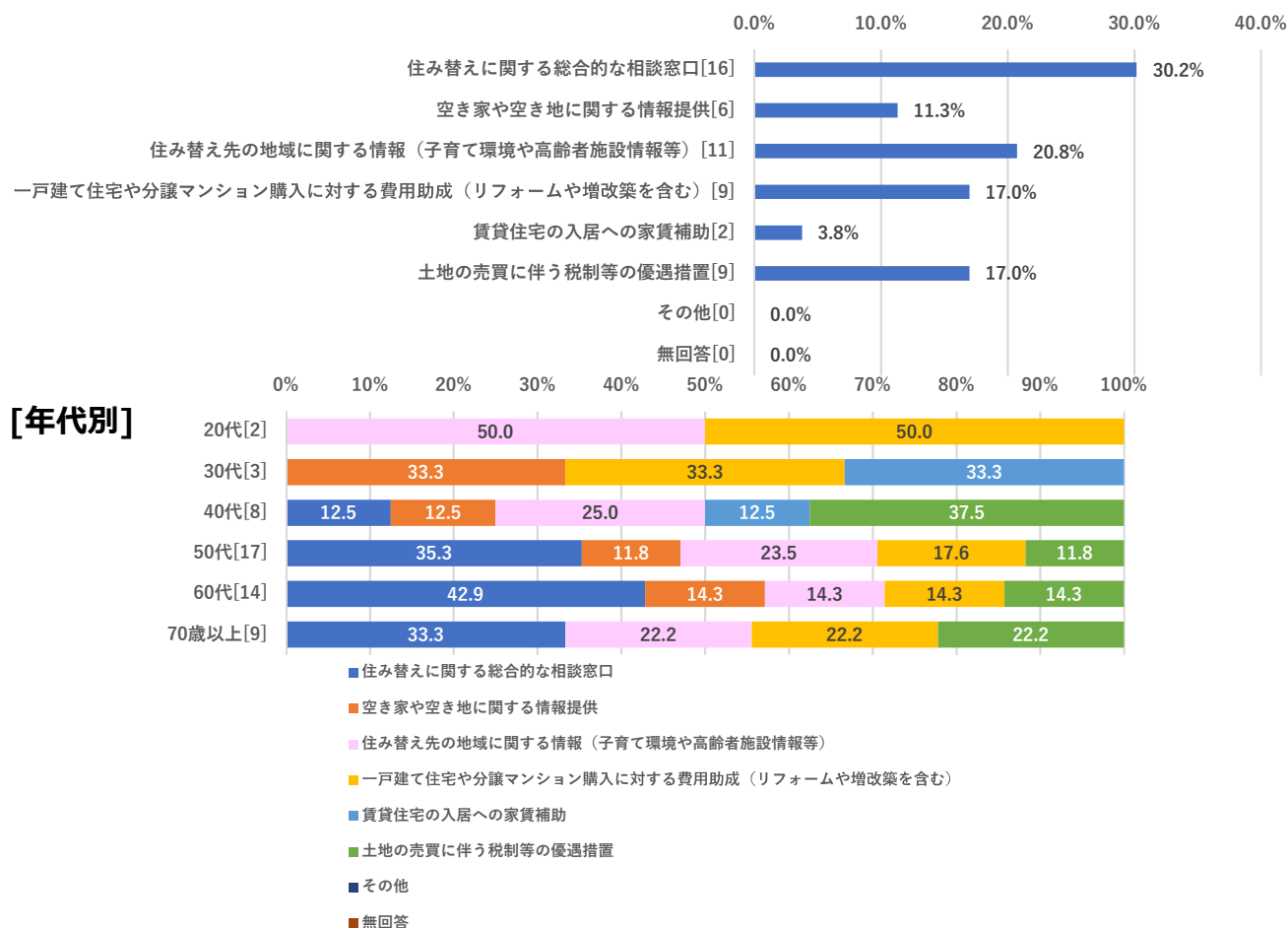
2. 調査結果

(3)住まいについて [問12~問20]

⑨ 住み替える場合にあれば良い制度 (問20)

※ 問14で「3. いずれは市内の他の場所に移りたい」を選んだ方のみの回答

- 「住み替えに関する総合的な相談窓口」が30.2%で最も高く、次いで「住み替え先の地域に関する情報（子育て環境や高齢者施設情報等）」20.8%「一戸建て住宅や分譲マンション購入に対する費用助成（リフォームや増改築を含む）」「土地の売買に伴う税制等の優遇措置」が並んで17.0%の順となっています。
- 年代別の傾向としては、回答数が少ないため、結果のみを示します。



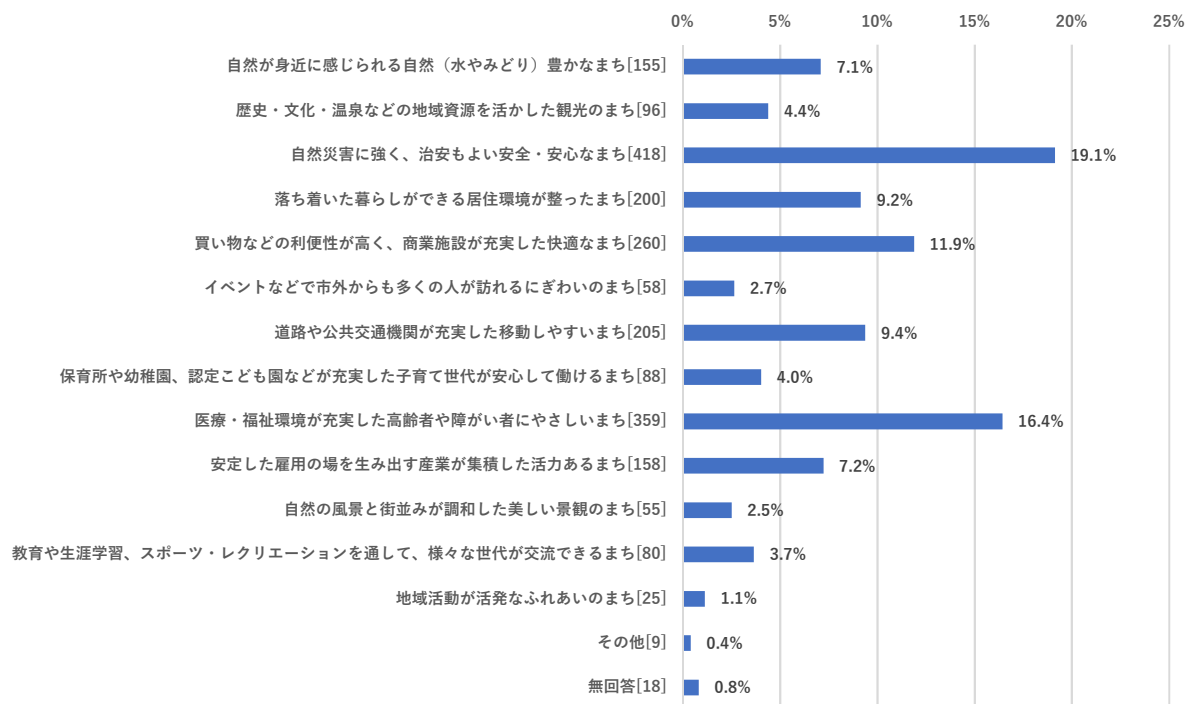
※ [] : 回答者数

2. 調査結果

(4)これからのいわき市のまちづくりについて [問21~問25]

①いわき市の将来像 (問21)

- 「自然災害に強く、治安もよい安全・安心なまち」が19.1%で最も高く、次いで「医療・福祉環境が充実した高齢者や障がい者にやさしいまち」16.4%、「買い物などの利便性が高く、商業施設が充実した快適なまち」11.9%の順となっています。



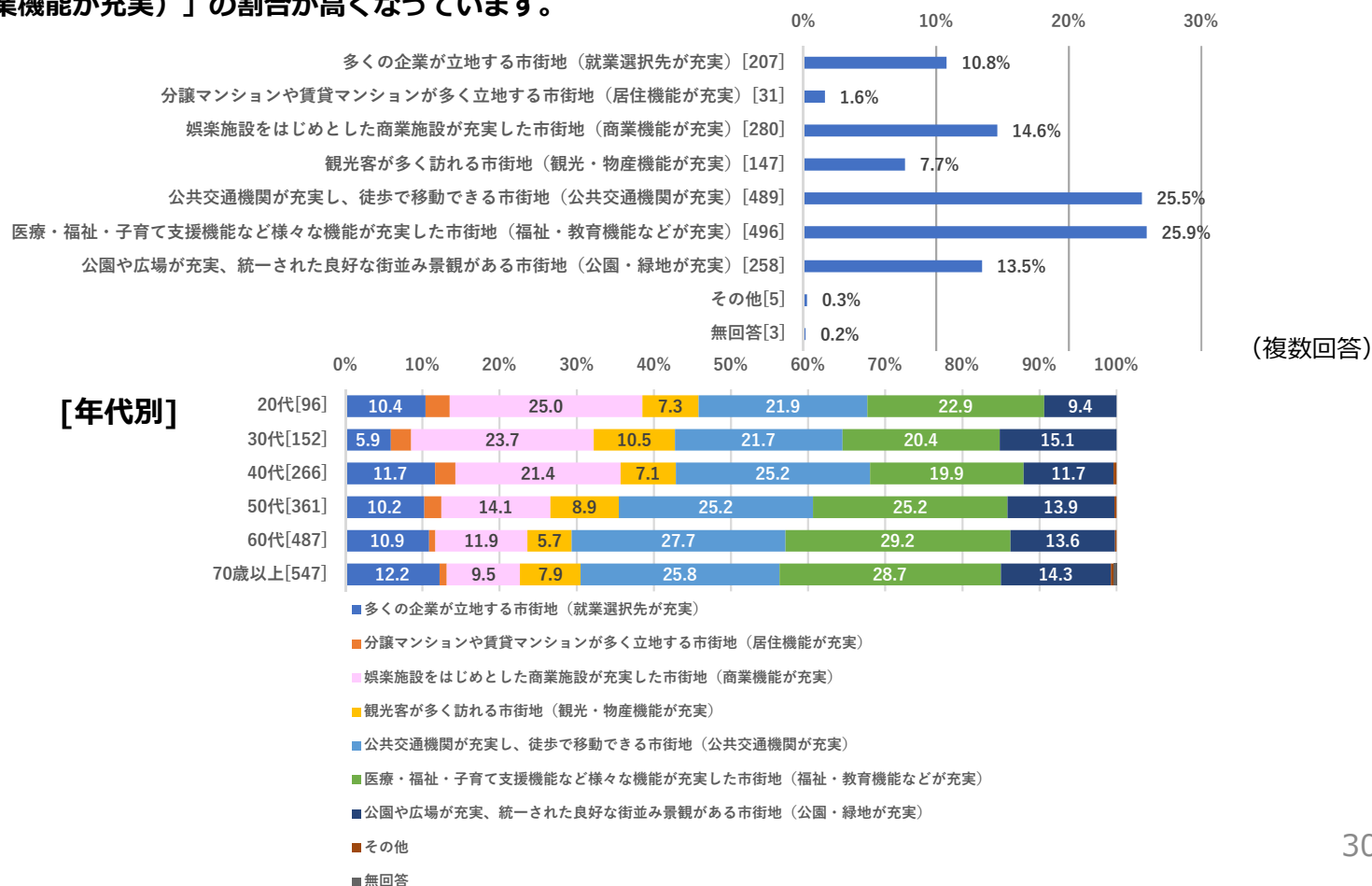
(複数回答)

2. 調査結果

(4)これからのいわき市のまちづくりについて [問21~問25]

②中心市街地のあるべき姿 (問22)

- 「医療・福祉・子育て支援機能など様々な機能が充実した市街地（福祉・教育機能などが充実）」が25.9%で最も高く、次いで「公共交通機関が充実し、徒歩で移動できる市街地（公共交通機関が充実）」25.5%、「娯楽施設をはじめとした商業施設が充実した市街地（商業機能が充実）」14.6%の順となっています。
- 年代別みても、概ね全体と同様の傾向になっていますが、年代が若くなるほど「娯楽施設をはじめとした商業施設が充実した市街地（商業機能が充実）」の割合が高くなっています。



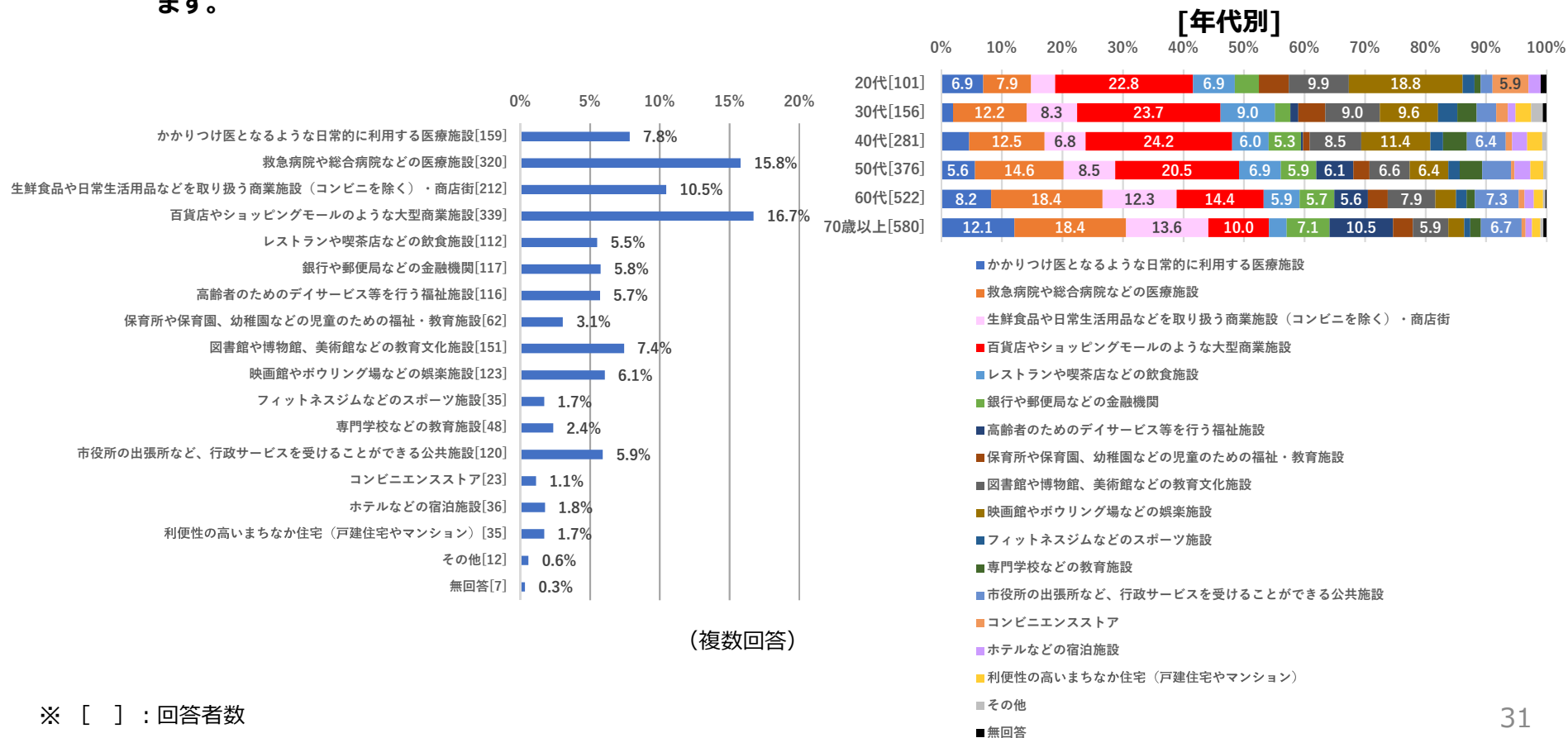
※ [] : 回答者数

2. 調査結果

(4)これからのいわき市のまちづくりについて [問21~問25]

③中心市街地に必要と考える施設 (問23)

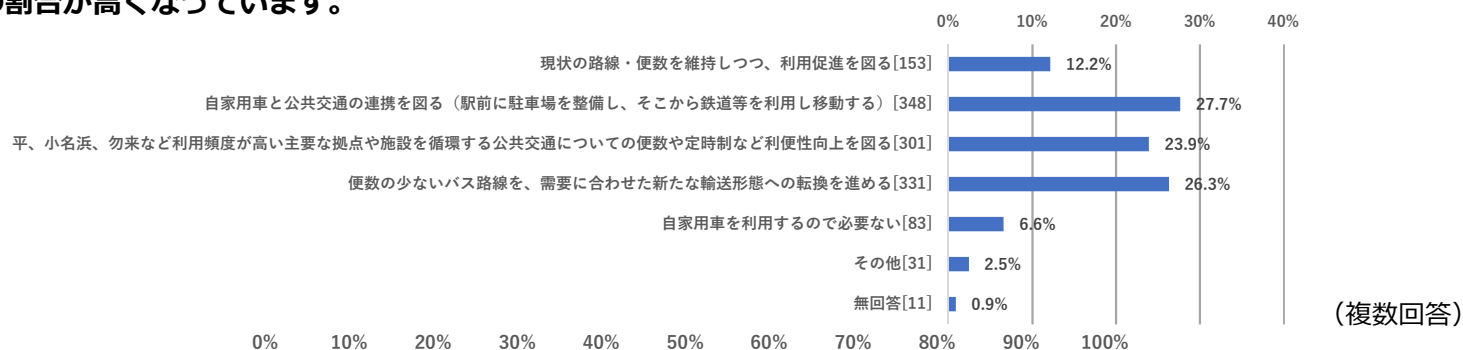
- 「百貨店やショッピングモールのような大型商業施設」が16.7%で最も高く、次いで「救急病院や総合病院などの医療施設」15.8%、「生鮮食品や日常生活用品などを取り扱う商業施設（コンビニを除く）・商店街」10.5%の順となっています。
- 年代別にみると、年代が若くなるほど「百貨店やショッピングモールのような大型商業施設」「映画館やボウリング場などの娯楽施設」の割合が高くなっており、年代が高くなるほど「救急病院や総合病院などの医療施設」の割合が高くなっていきます。



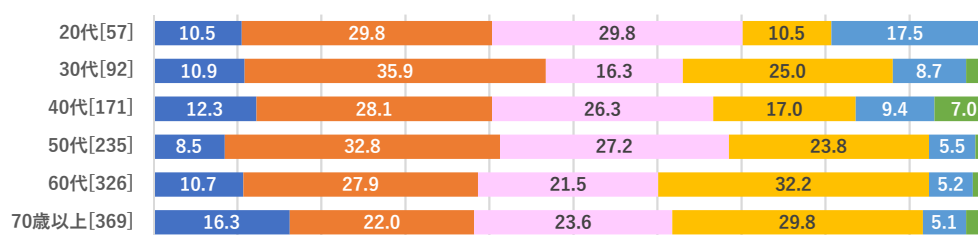
(4)これからのいわき市のまちづくりについて [問21~問25]

④市内移動において望ましい公共交通（問24）

- 「自家用車と公共交通の連携を図る（駅前に駐車場を整備し、そこから鉄道等を利用し移動する）」が27.7%で最も高く、次いで「便数の少ないバス路線を、需要に合わせた新たな輸送形態への転換を進める」26.3%、「平、小名浜、勿来など利用頻度が高い主要な拠点や施設を循環する公共交通についての便数や定時制など利便性向上を図る」23.9%の順となっています。
- 年代別にみると、全体と重要視している項目の割合は変わりませんが、年代が若くなるほど「自家用車を利用するのが必要ない」の割合が高い傾向にあり、年代が高くなるほど「便数の少ないバス路線を、需要に合わせた新たな輸送形態への転換を進める」の割合が高くなっています。



[年代別]



- 現状の路線・便数を維持しつつ、利用促進を図る
- 自家用車と公共交通の連携を図る（駅前に駐車場を整備し、そこから鉄道等を利用し移動する）
- 平、小名浜、勿来などの利用頻度が高い主要な拠点や施設を循環する公共交通についての便数や定時制など利便性向上を図る
- 便数の少ないバス路線を、需要に合わせた新たな輸送形態への転換を進める
- 自家用車を利用するのが必要ない
- その他
- 無回答

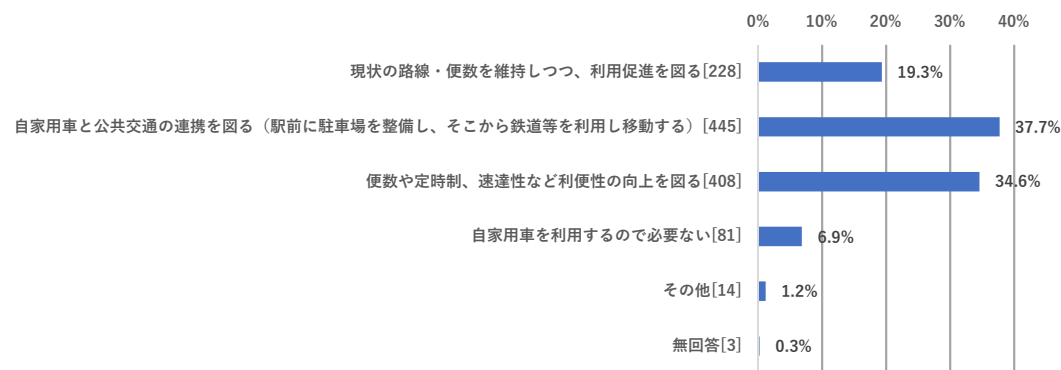
※ [] : 回答者数

2. 調査結果

(4)これからのいわき市のまちづくりについて [問21~問25]

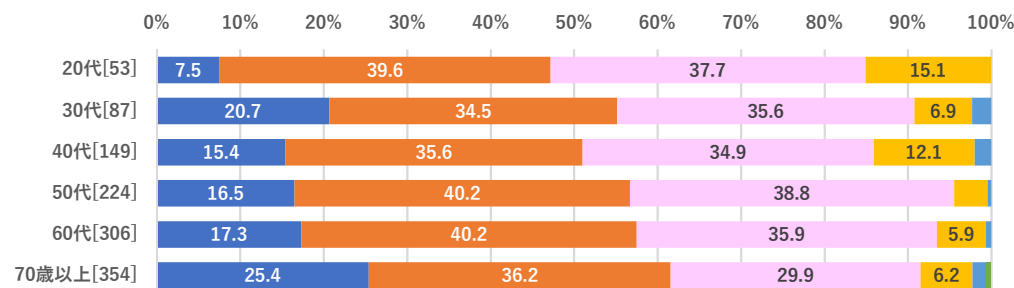
⑤他市町村との移動において望ましい公共交通（問25）

- 「自家用車と公共交通の連携を図る（駅前に駐車場を整備し、そこから鉄道等を利用し移動する）」が37.7%で最も高く、次いで「便数や定時制、速達性など利便性の向上を図る」34.6%、「現状の路線・便数を維持しつつ、利用促進を図る」19.3%の順となっています。
- 年代別にみても、全体と重要視している項目の割合は概ね変わりません。



(複数回答)

[年代別]



- 現状の路線・便数を維持しつつ、利用促進を図る
- 自家用車と公共交通の連携を図る（駅前に駐車場を整備し、そこから鉄道等を利用し移動する）
- 便数や定時性、速達性など利便性の向上を図る
- 自家用車を利用するの必要な
- その他
- 無回答

※ [] : 回答者数

(5)いわき市のまちづくりに対するご意見やご提案【自由意見】

- アンケートにご回答いただいた780通の内の227通の方から、いわき市のまちづくりについてご意見やご要望をいただきました。
- 『交通に関して』の有り方や、『医療福祉』『商業施設』『娯楽・スポーツレクリエーション』の課題や要望、『地域毎の特性への配慮』など様々な視点からのご意見をいただきました。
- 主なご意見は次頁以降の通り。

2. 調査結果

(5)いわき市のまちづくりに対するご意見やご提案【自由意見】

【交通に関する内容】

主な意見

- 郊外の大型商業施設でしか買えないものが増えた。車を運転しない者にとっては不便です。(50歳代 女性)
- 車の運転ができなくなった場合、安く乗れるタクシーをお願いします。(70歳以上 女性)
- いわき駅に7時前に着かないと、スクールバスに乗れない。帰りも、石森18:00着が最終バス。車で送り迎えするしかない。(20歳代 女性)
- 数年後には運転免許証を返却するつもり。そうなると買物する移動手段はバス。便数が少なく不便である。(60歳代 女性)
- どこに行くにも自家用車がなくてはならない。(60歳代 不明)
- 何としても公共交通機関の充実が望まれる。(70歳代 男性)
- これから先運転が出来なくなったら？夫が元気でなくなったら？と考えた場合、毎日の生活で買物はどうしよう？と考えた時とても不安になる。(70歳以上 女性)
- 車を利用しているので不便を感じないが、運転ができなくなったら心配です。(60歳代 女性)
- 小まわりのきく小さなバスにして、買い物とかもいきやすくしたらいいんじゃないか。(40歳代 男性)
- 車なしでは移動が困難という所を少し改善しないと、高齢の方が多くなってきているので、公共交通を充実する事も大切なのかなと思う。(20歳代 女性)
- 市内の移動さえ自家用車を使うしかないなので、バスの運行（路線や便数）が増えてほしいと思います。医療機関にも車でしか通えない現状があります。(40歳代 女性)
- 公共交通の利便性が悪く地区ごとにかく差がある。(40歳代 女性)
- 免許を返還した方々がバスやタクシーの利用する際のサービスをもっと市で考慮してほしい。(50歳代 男性)

2. 調査結果

(5)いわき市のまちづくりに対するご意見やご提案【自由意見】

【医療福祉に関する内容】

主な意見

- 高度な医療の充実や総合病院、医療施設など力を入れていただきたい。福祉や子育てへの支援機能充実に目をむけてほしい。(70歳以上 男性)
- 総合病院がもっと安心して、かかりやすく、信用できる病院であってほしい。(50歳代 男性)
- 医療施設がもっと充実すると良い。(30歳代 女性)
- 救急医療をしっかりしてほしい。(40歳代 男性)
- 初めていわき市の医療に不安をいただきました。もっと、充実した医療を受けられる施設が欲しいです。(40歳代 女性)
- 救急病院を多くしてほしい。(60歳代 男性)
- 医療施設や福祉施設を充実したものにして、それらに通う交通面を無料化などきめ細やかなサービスがあると、みなさん利用するのではないのでしょうか。(40歳代 女性)
- 磐城総合共立病院はいわきニュータウンの方へ引越してしまうようですが、内郷はいわきの中で中心地です。一つでも大病院を残してもらえないのでしょうか。(60歳代 女性)

2. 調査結果

(5)いわき市のまちづくりに対するご意見やご提案【自由意見】

【商業施設に関する内容】

主な意見

- 便利過ぎるのも問題が多い。身の丈に合ったいわき市でよい。大型商業施設など不要。(70歳以上 女性)
- 平地区に比べると勿来、植田地区がだいぶ遅れております。もっと、遊園地とか、ショッピングセンターとかファミリーレストランとか…(60歳代 女性)
- 人口が増えたということチャンスをとらえ、人と人が集える場を増やして、各イベントや学習できる場をもっと増せば、いわき市の文化的・経済的なスキルも上がり住みよい街になるかと思えます。(40歳代 女性)
- いわきに住んでいて日常生活に困るという事はあまりないと感じていますが、デパート等がないので洋服を買いに郡山や水戸へ行く人が多いと思います。(50歳代 女性)
- 夫の実家が小川ですが、総合スーパーが無く、車移動にたよる状況です。小型の循環バスなどあれば年配者は買い物や医療など助かるかと思えます。(40歳代 女性)
- 遠野地区は大きなスーパーも銀行もなく植田、湯本に週1ペースで買い物、用事で出かけています。どうにか若い人が地元に残ってくれる事を願うばかりです。(50歳代 女性)
- いわきには、デパート、百貨店がないのでぜひとも計画してほしいですね。若い人達は仙台や水戸、東京へ買物へ行くそうです。(50歳代 女性)
- 買い物の件ですが、マルトとベニマルばかりで非常につまらないので（特に常磐地区）鮮場的なお店がふえるとうれしいです。(50歳代 女性)
- 買物難民のお年寄りの声を多く聞きます。利用しやすい公共交通を希望します。(60歳代 女性)
- 土地があまっているのなら大型ショッピングセンター、又、子供達があそべる所をつくってほしい。(30歳代 女性)
- いわき駅前はラトブの中だけにぎやかという感じなので、もう少し駅周辺に大きな商業施設が出来て充実すれば良いと思っています。(70歳代 女性)
- 30代の私が見ても、駅前のお店には、魅力を感じないので、10代、20代の方は、余計ないと思います。(30歳代 女性)
- いわき駅前に買い物をしたいと思う商業施設がなさすぎる。(50歳代 女性)
- 平駅前を中心とした大型商業施設の開設を強く希望します。駅前を中心とした活気溢れる町づくりを期待いたします。(70歳代 女性)

2. 調査結果

(5)いわき市のまちづくりに対するご意見やご提案【自由意見】

【娯楽・スポーツ・レクリエーションに関する内容】

主な意見

- いわき駅前周辺は観光客が喜びそうなものがないので、若者もつまらない感じがうかがえます。(50歳代 女性)
- いわきはデート場所がアクアマリンなどしかありません。大型のショッピングモールや、大型の映画館があればなと思います。(20歳代 男性)
- 若い人達が働きやすい安定した雇用の場を生み出す会社があれば人口流失にも効果がある。それには娯楽施設など作って頂ければ若い人もいわきに住んで貰えるのでは(60歳代 女性)
- 子供を無料であそべる室内遊び場を平駅周辺に作ってほしい。(20歳代 男性)
- 健康維持の為にスポーツ施設を各地に設置して欲しい。(60歳代 男性)
- 子供達の為、動物園が必要(小さい?でもよい)。子供達の自然教育に力を入れてほしい。(70歳代 男性)
- 夏に子供達が水着で安心して遊べる地面から出る噴水やミストなどを公園に作って欲しい。(40歳代 男性)
- 高校生、大学生、学生が寄れる利用できる施設例えば図書館、文化センターを充実させて、もっと若者が楽しい町づくりをしてほしい。(60歳代 女性)
- 冬に出来るスポーツ施設を学生が利用しやすい所に作って頂ければ良いのではないのでしょうか。いわき市がもう少し勉強出来る場所を作って頂けると、さらににぎわういわき市になるのではないのでしょうか?(40歳代 女性)
- ゆっくりと散歩やサイクリング、ジョギングなどが出来る広場があると良い。(50歳代 女性)
- いわき駅の周辺に人が集まりやすい娯楽施設を増やしてほしい。たとえば映画館など、本数が少ないので、つつい水戸まで行ってしまふ。とても残念。(70歳以上 女性)

(5)いわき市のまちづくりに対するご意見やご提案【自由意見】

【地域毎の特性に関する内容】

主な意見

- 公共施設の開発投資が、平、小名浜、内郷地区に偏っている様に思われる。県境の南部（勿来地区）にも目を向けて、開発投資して欲しい。(70歳代 男性)
- 平地区、湯本・内郷地域、泉・小名浜地域、植田・勿来地域をどの様な地域にしたいのか現状では全く見えて来ない。(60歳代 男性)
- 小名浜にイオンモールが出来ると、平とか鹿島の方に来てた人達が小名浜に集中して、平が、今の福島市みたいになってしまうのでは。(50歳代 女性)
- 沿岸部、山間部と都市部とで全く様相が異なります。それぞれの地区の特色を生かしつつ、それぞれのまちが医療、福祉、教育で過不足ないように整備を進めていってほしいと思います。(70歳代 男性)
- いわき駅周辺を中心市街地としての促進を考えるのではなく、平・小名浜・常磐・勿来・内郷・四倉といった広域多核都市を結ぶまちづくりを進めれば、注目を集め市全体の活性化が図られるのではないのでしょうか。(40歳代 男性)

2. 調査結果

(5)いわき市のまちづくりに対するご意見やご提案【自由意見】

【子育て、若者居住に関する内容】

主な意見

- 若い人が定着する街づくりを目ざす。平地区は、学校や商業施設を重点に若者が集まる街づくり。小名浜は、海を生かした観光の街づくり。常磐は、温泉を生かした宿泊施設の充実。(60歳代 男性)
- 保育園の入園に苦労しました。もう少し保育園を増やしてほしい。(20歳代 女性)
- 子供が少ない街だと思うので環境を豊かにして、さらに若い方々が安心して生活で来る街を望む。(70歳代 男性)
- 今のいわき市は震災後、土地価格上昇し、会社員の給料だけでは購入が難しいのが現状だと思います。(不明 不明)
- いわき市にいわき市民が住める賃貸マンションやアパートがなく、とても困っています。(30歳代 女性)
- 保育所や幼稚園などを増やして待機児童をへらして無料化にしてほしい。授乳室を増やしてほしい(赤ちゃんの駅には必ずあるように) (20歳代 女性)
- 泉地区に図書館を！自習スペース等もある施設がほしい。子育て世代が多いのに小名浜まで行くのは手間。(20歳代 女性)
- 専門学校が多くあると他の地区から人が来る。→そのまま住むかも(40歳代 男性)
- 歴史や文化をほり起こし、市民がもっと地元で愛着を持つまちづくりをすることによって地元を離れた若者がもどってくる割合を高めていければ良いと思います。(40歳代 男性)
- 震災後はいわき市の土地が高いから、今の20~30代は家が建てにくいので、永住は難しいと思います。(20歳代 女性)
- 老人世帯がふえていくので、毎日若い人の顔もみえる、老人の顔が見える。毎日人と人が接する事が出来る住宅をのぞみます。(70歳以上 不明)
- 他県からやってくる人に対して、もう少し親切な環境・行政であって欲しい。就業支援、お祝い金など…。(30歳代 男性)